

# 平成26年度 福井支部医療費等分析

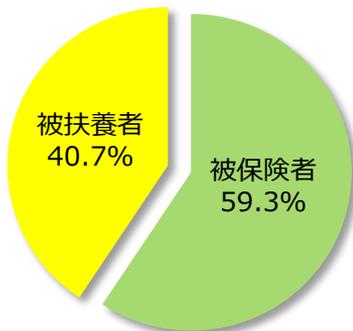
# 福井支部加入者情報 基本データ

※データ：協会けんぽ加入者基本情報（平成27年3月時点）

●加入者数…288,030人

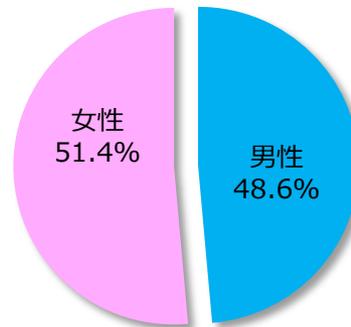
## ①被保険者・被扶養者別

- ・被保険者…170,911人（59.3%）
- ・被扶養者…117,119人（40.7%）



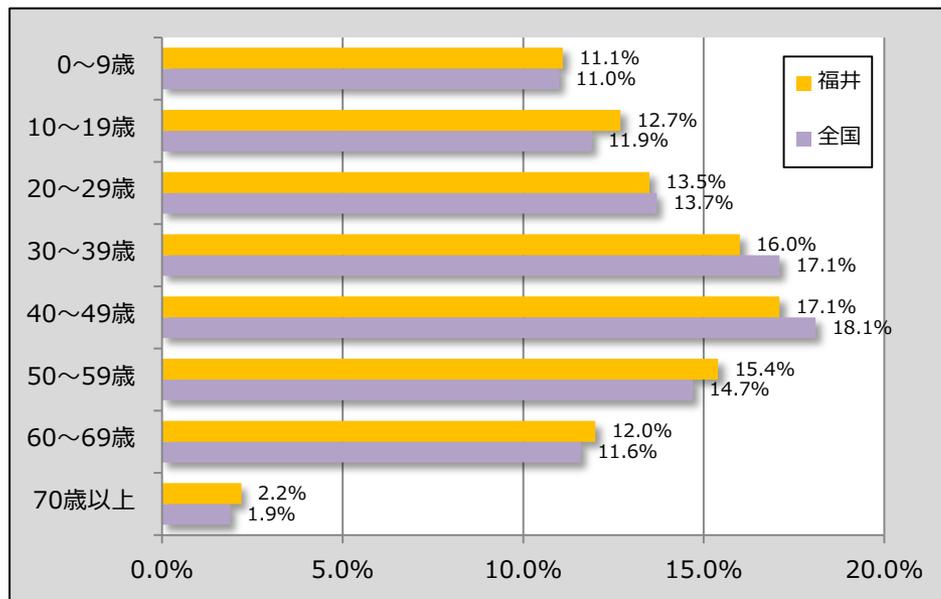
## ②性別

- ・男性…139,846人（48.6%）
- ・女性…148,184人（51.4%）



## ③年齢階級別

年齢階級	加入者数（人）		割合	
	福井	全国	福井	全国
0～9歳	32,107	3,994,084	11.1%	11.0%
10～19歳	36,484	4,321,991	12.7%	11.9%
20～29歳	38,768	4,997,949	13.5%	13.7%
30～39歳	45,990	6,211,836	16.0%	17.1%
40～49歳	49,330	6,590,765	17.1%	18.1%
50～59歳	44,385	5,363,900	15.4%	14.7%
60～69歳	34,631	4,210,797	12.0%	11.6%
70歳以上	6,335	701,135	2.2%	1.9%
<b>合計</b>	<b>288,030</b>	<b>36,392,457</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>

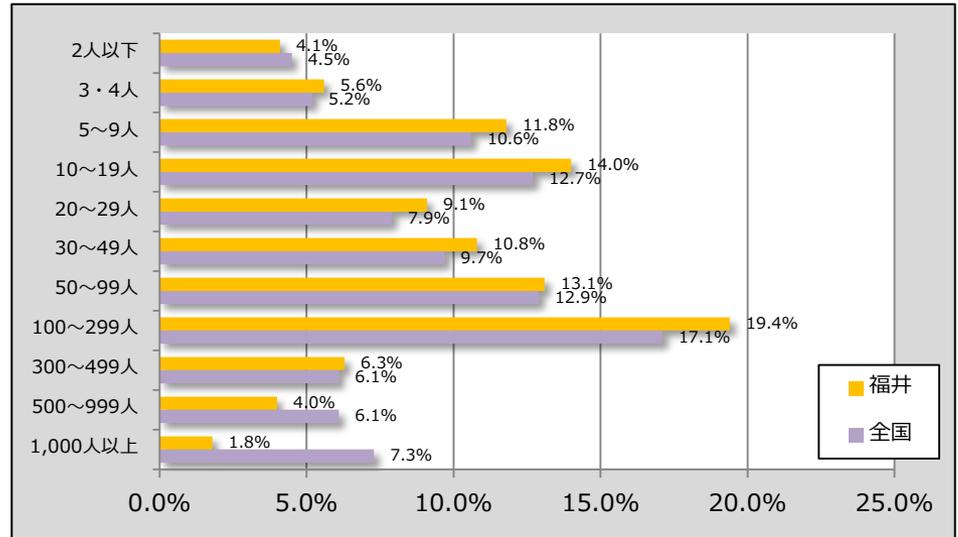


# 福井支部加入者情報 基本データ

※データ：協会けんぽ加入者基本情報（平成27年3月時点）  
 ※任意継続加入者は除く。

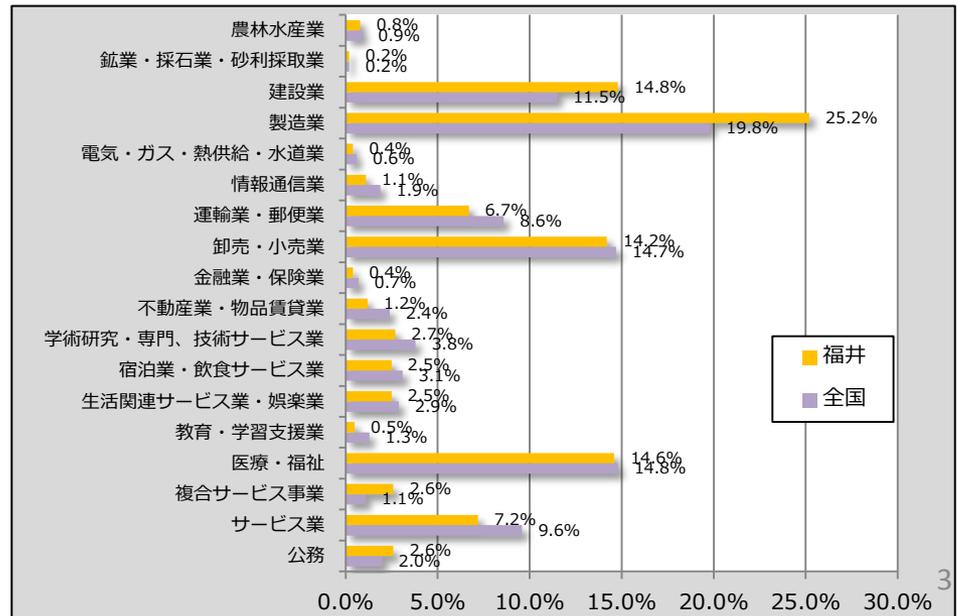
## ④事業所規模別

事業所規模	加入者数（人）		割合	
	福井	全国	福井	全国
2人以下	11,687	1,598,154	4.1%	4.5%
3・4人	15,929	1,848,889	5.6%	5.2%
5～9人	33,503	3,806,343	11.8%	10.6%
10～19人	39,773	4,564,442	14.0%	12.7%
20～29人	26,003	2,835,180	9.1%	7.9%
30～49人	30,631	3,472,437	10.8%	9.7%
50～99人	37,291	4,611,430	13.1%	12.9%
100～299人	55,357	6,113,045	19.4%	17.1%
300～499人	17,972	2,196,450	6.3%	6.1%
500～999人	11,451	2,169,930	4.0%	6.1%
1,000人以上	5,070	2,605,783	1.8%	7.3%
<b>合計</b>	<b>284,667</b>	<b>35,822,083</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>



## ⑤事業所業態別

事業所業態	加入者数（人）		割合	
	福井	全国	福井	全国
農林水産業	2,160	326,176	0.8%	0.9%
鉱業・採石業・砂利採取業	468	79,271	0.2%	0.2%
建設業	42,065	4,132,543	14.8%	11.5%
製造業	71,632	7,091,610	25.2%	19.8%
電気・ガス・熱供給・水道業	1,068	228,351	0.4%	0.6%
情報通信業	3,244	697,161	1.1%	1.9%
運輸業・郵便業	19,196	3,064,331	6.7%	8.6%
卸売・小売業	40,292	5,268,982	14.2%	14.7%
金融業・保険業	1,151	267,186	0.4%	0.7%
不動産業・物品賃貸業	3,487	846,172	1.2%	2.4%
学術研究・専門・技術サービス業	7,617	1,370,494	2.7%	3.8%
宿泊業・飲食サービス業	6,986	1,093,947	2.5%	3.1%
生活関連サービス業・娯楽業	7,026	1,034,391	2.5%	2.9%
教育・学習支援業	1,424	482,506	0.5%	1.3%
医療・福祉	41,655	5,309,425	14.6%	14.8%
複合サービス事業	7,381	380,946	2.6%	1.1%
サービス業	20,464	3,422,745	7.2%	9.6%
公務	7,351	725,846	2.6%	2.0%
<b>合計</b>	<b>284,667</b>	<b>35,822,083</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>



# I. 医療費について

データ：全国健康保険協会 都道府県医療費等の基礎データ（平成26年度）

※医療費は社会保険診療報酬支払基金審査分（入院、入院外、歯科、調剤、入院時食事療養費・生活療養費、訪問看護療養費）、療養費（柔道整復療養費等）、移送費にかかるものであり、「その他」は入院、入院外、歯科、調剤以外の医療費を表す。

※傷病別医療費は、平成26年4月～平成27年3月のレセプトの集計値であり、入院外レセプトに突合できる調剤レセプト分が含まれている。

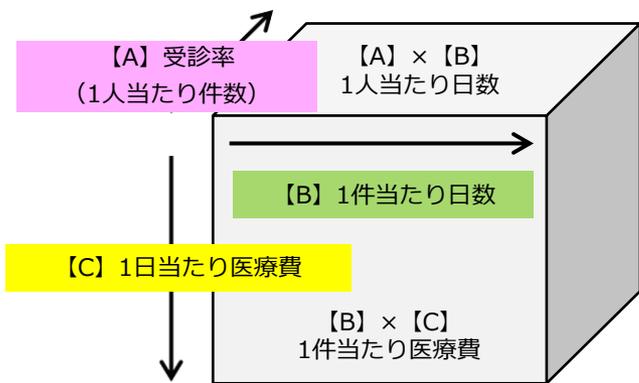
※都道府県別の医療費は、加入者の事業所所在地の都道府県毎に集計したものである。

# 医療費分析の構成三要素

医療費分析を行うにあたり、『1人当たり医療費』を算出する必要があります。

なおかつ、1人当たり医療費は三要素に分解することができ、それぞれの要素の数値を男女別、年齢別など様々な角度から比較することで、福井支部加入者の受診傾向などを把握することが可能となります。

## 1人当たり医療費の構成三要素



## 医療費の動向分析の切り口

	医療【需要側】に関する主な要因	医療【供給側】に関する主な要因
<b>【A】 受診率</b>	健康度 症状の程度 受診意識	医療機関数 医師数 病床数
<b>【B】 1件当たり日数</b>	疾病構造 症状の程度 受診意識	診療行為
<b>【C】 1日当たり医療費</b>	疾病構造 症状の程度	診療行為

## 1人当たり医療費を構成する三要素

$$\text{1人当たり医療費} = \text{【A】 受診率} \times \text{【B】 1件当たり日数} \times \text{【C】 1日当たり医療費}$$

**【A】 受診率** = 一定期間内（※）に医療機関にかかった人の割合（レセプト件数を加入者数で除した値）

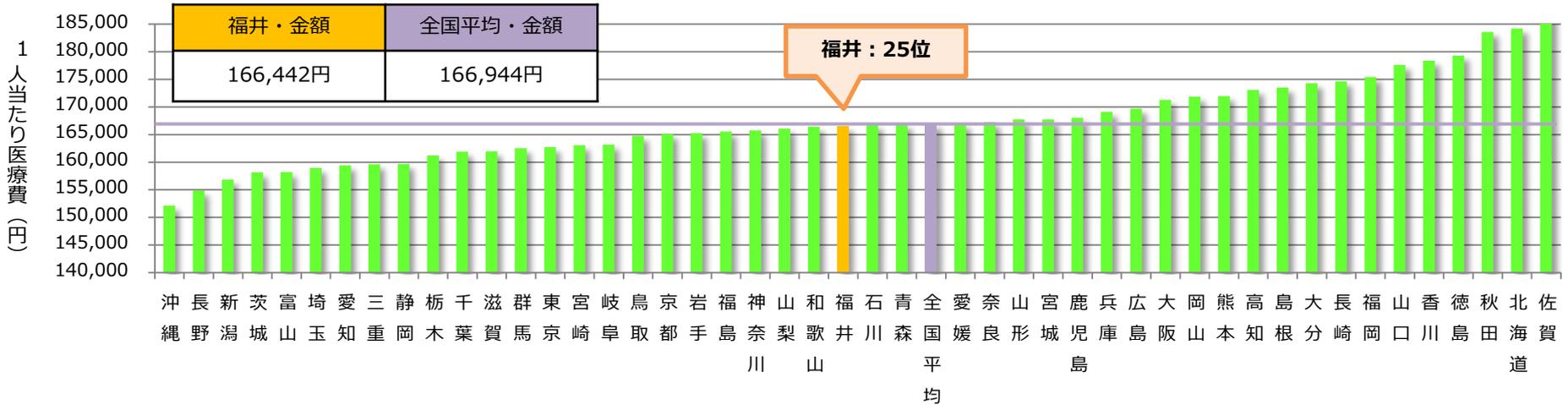
**【B】 1件当たり日数** = 一定期間内（※）に医療機関にかかった日数（診療の総日数をレセプト件数で除した値）

**【C】 1日当たり医療費** = 1日当たりにかかった医療費（総医療費を診療の総日数で除した値）

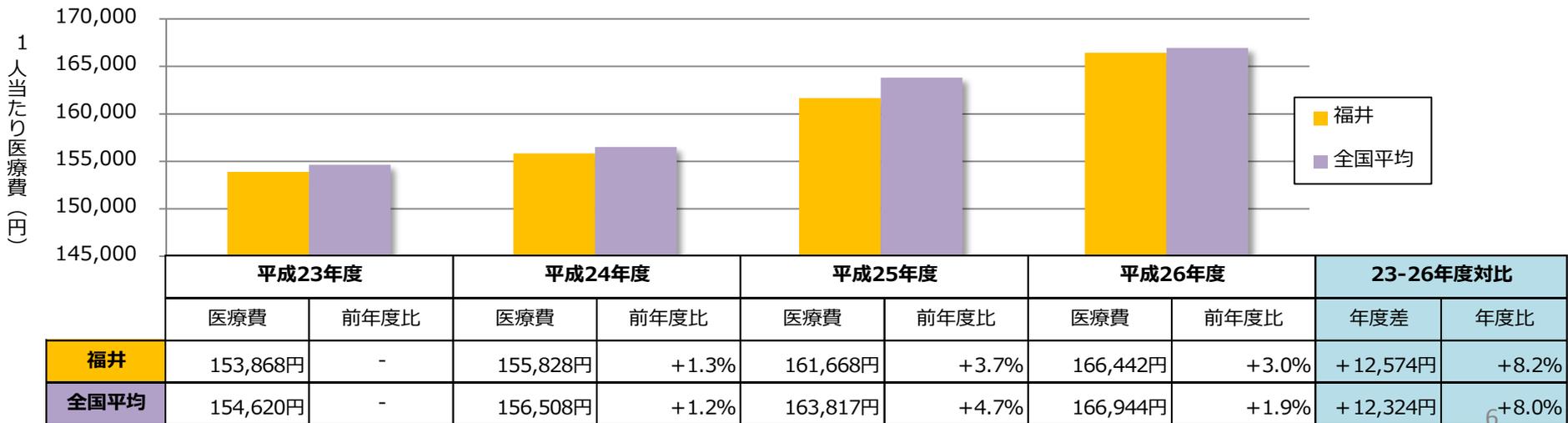
※平成26年4月～平成27年3月

次ページから、【1人当たり医療費】について分析します

# 1-a 1人当たり医療費（合計）



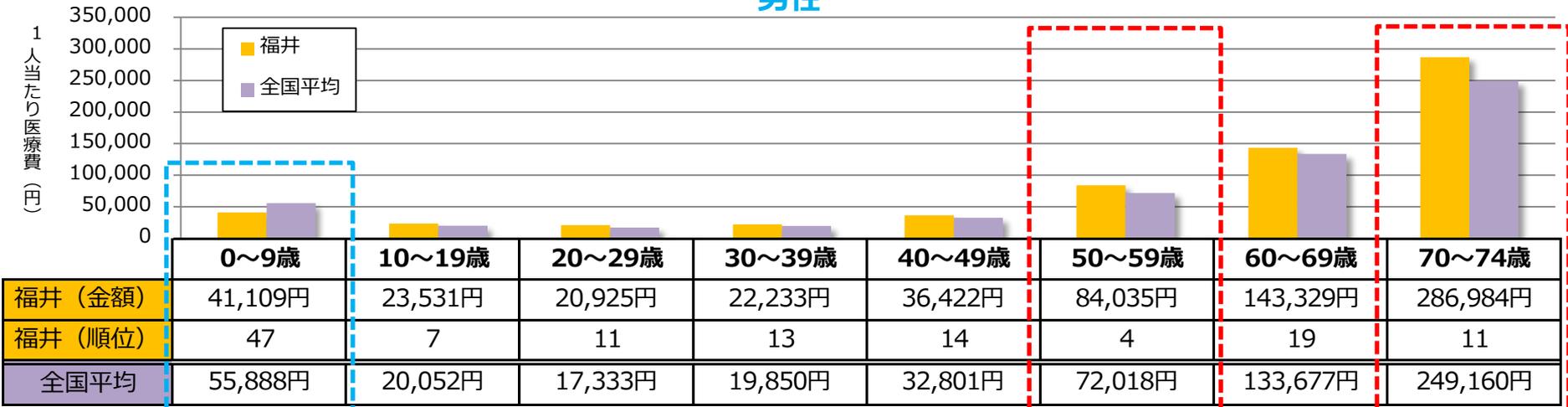
# 1-b 1人当たり医療費の推移と増加率（合計）



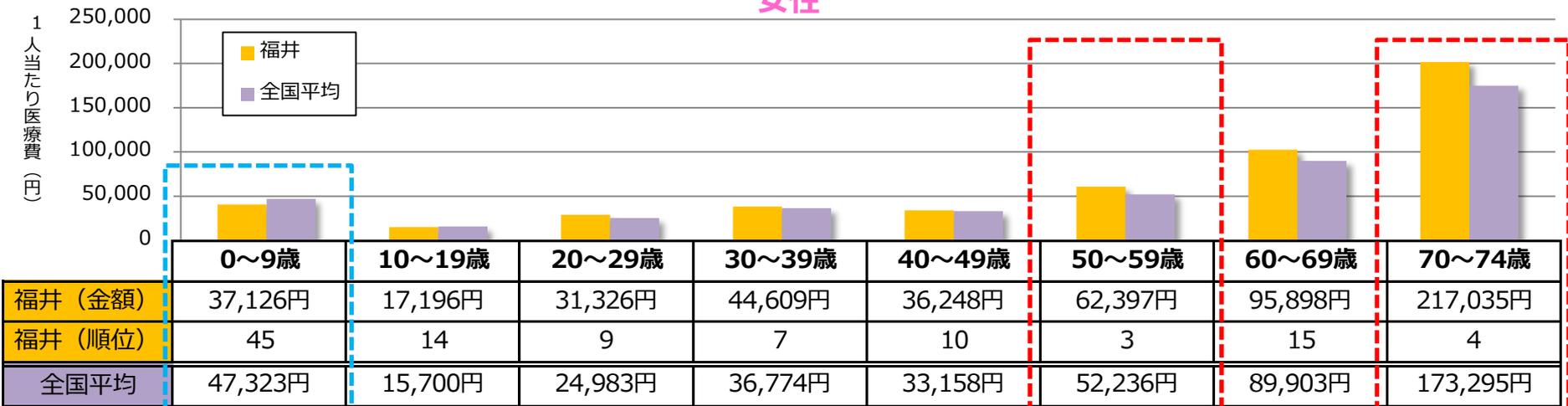


## 2-c 1人当たり入院医療費を年齢・性別で分析

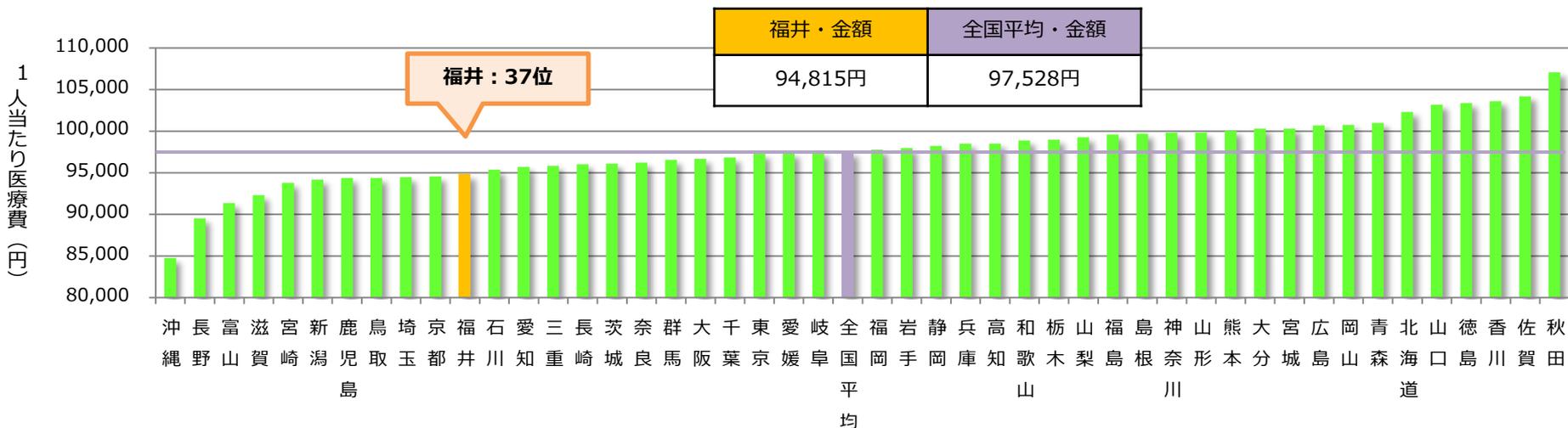
### 男性



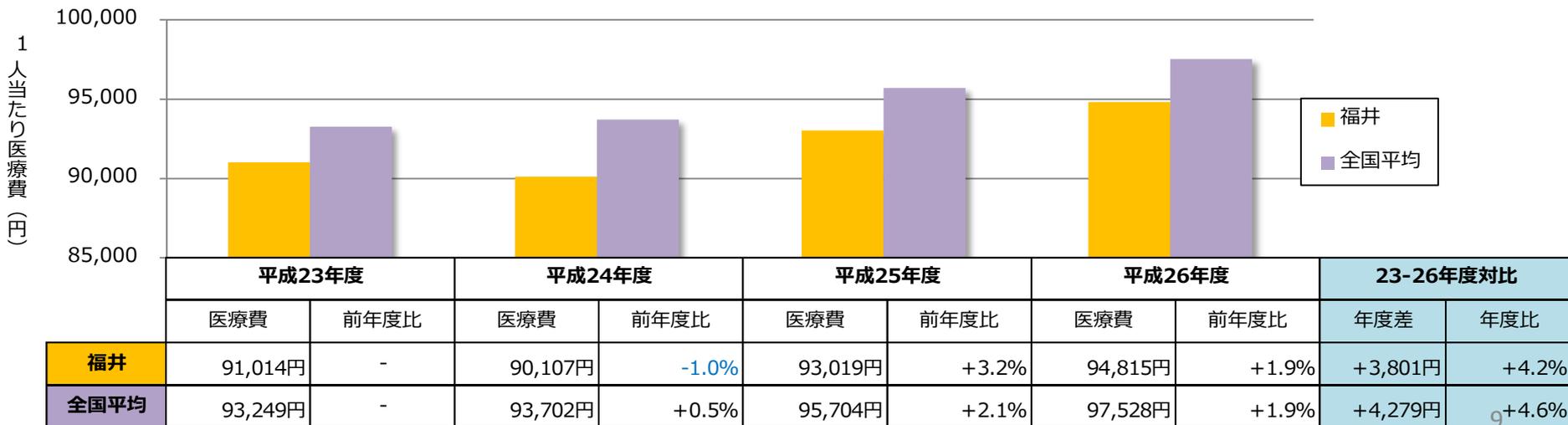
### 女性



### 3-a 1人当たり入院外医療費

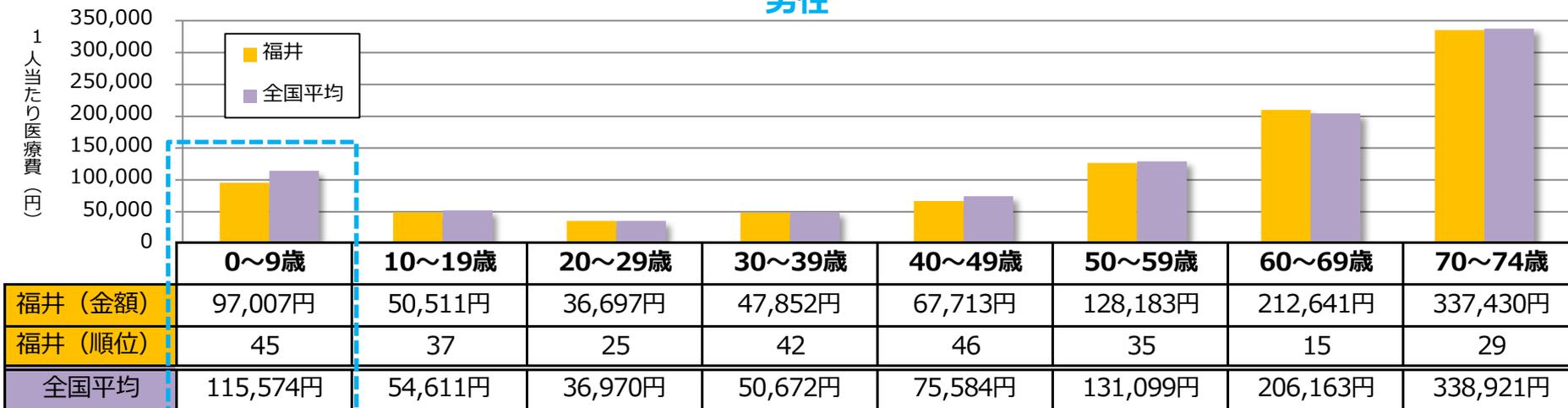


### 3-b 1人当たり入院外医療費の推移と増加率

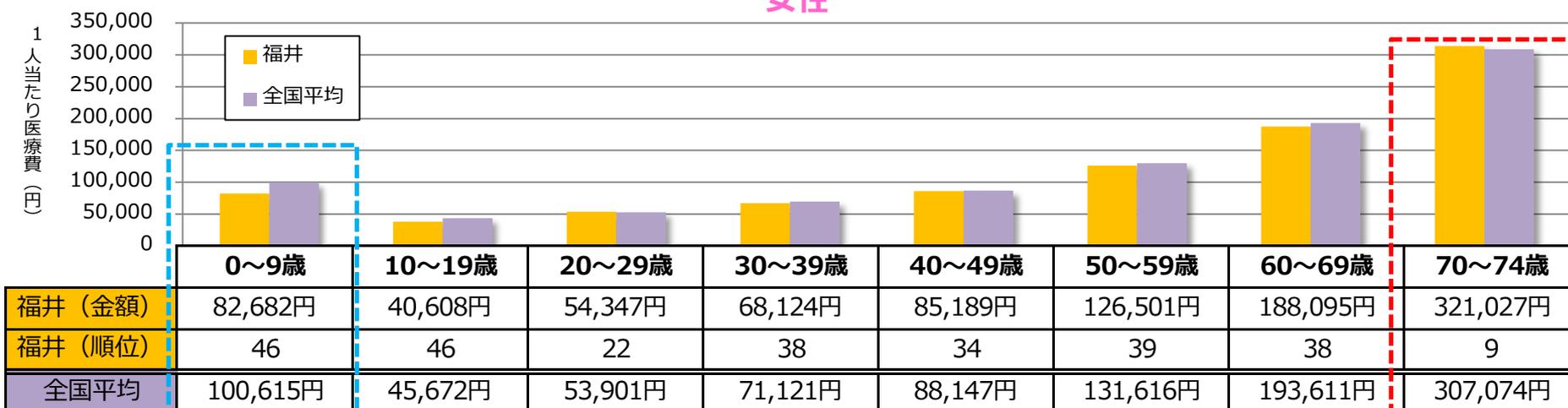


### 3-c 1人当たり入院外医療費を年齢・性別で分析

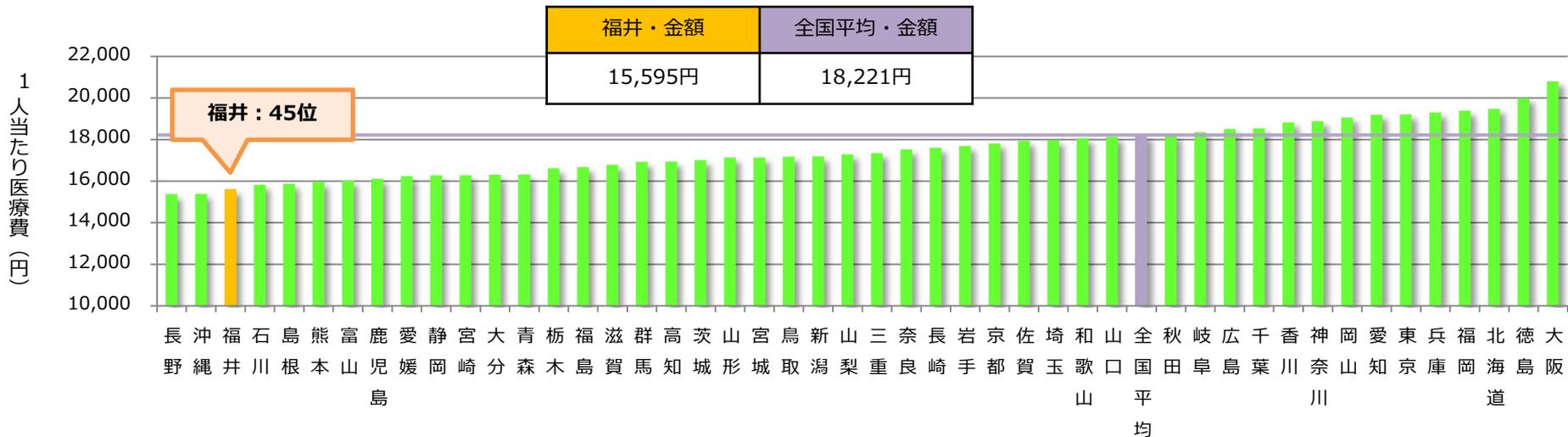
#### 男性



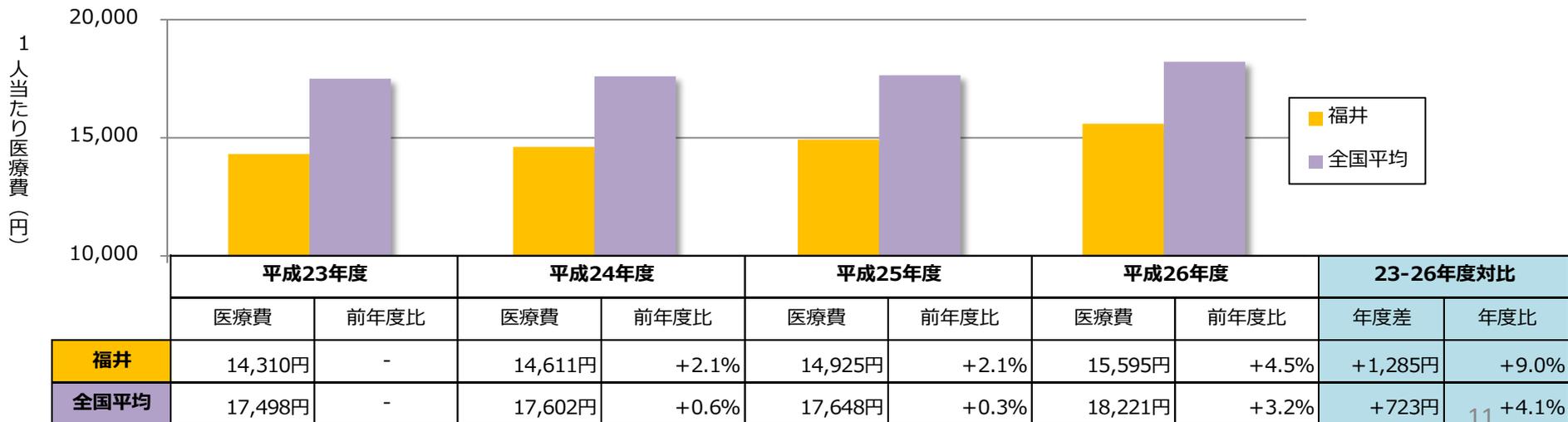
#### 女性



## 4-a 1人当たり歯科医療費



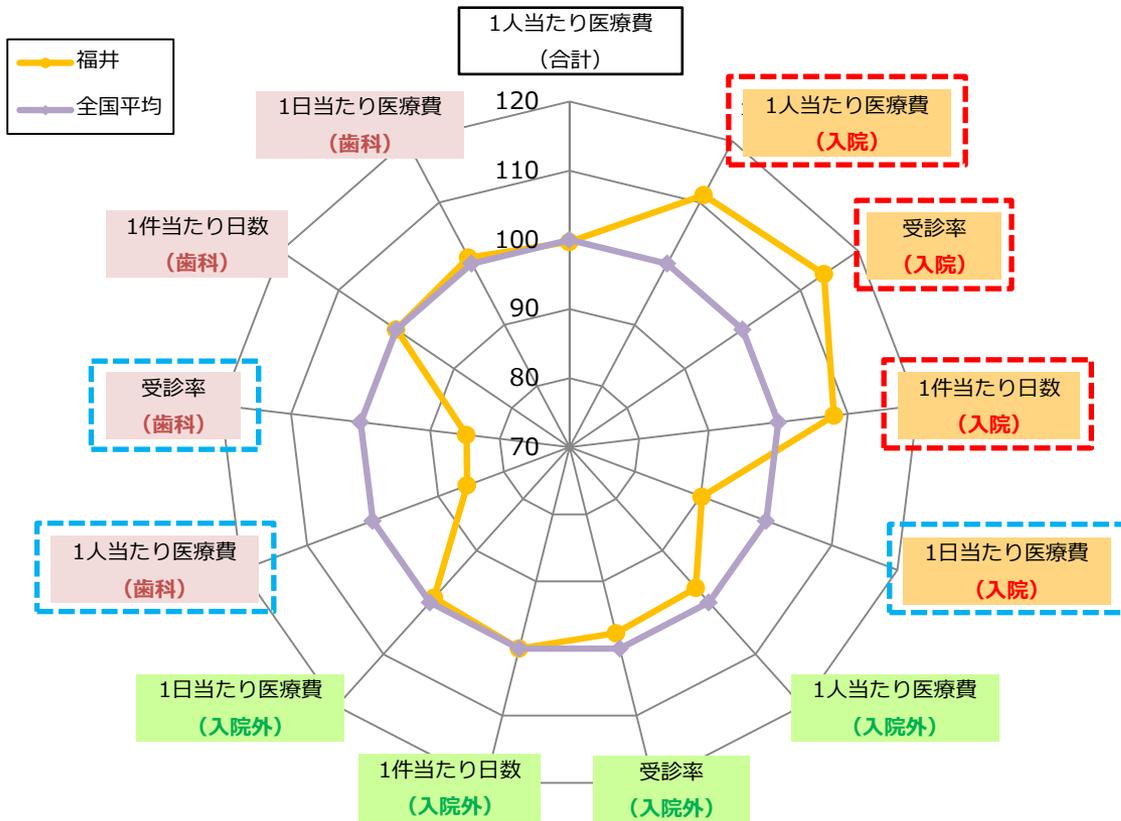
## 4-b 1人当たり歯科医療費の推移と増加率





## 6 医療費構成要素レーダーチャート ～福井支部と全国平均の比較～

福井支部と全国平均の診療諸比率比較



①1人当たり医療費

	入院	入院外	歯科
福井	51,568円	94,815円	15,595円
全国平均	46,379円	97,528円	18,221円
全国平均との比較	+11.2%	-2.8%	-14.4%

②受診率 (1,000人当たり件数)

	入院	入院外	歯科
福井	111.34件	5,850.02件	1,258.68件
全国平均	97.54件	5,985.63件	1,485.10件
全国平均との比較	+14.1%	-2.3%	-15.2%

③1件当たり日数

	入院	入院外	歯科
福井	10.90日	1.48日	1.88日
全国平均	10.09日	1.48日	1.88日
全国平均との比較	+8.0%	±0.0%	±0.0%

④1日当たり医療費

	入院	入院外	歯科
福井	42,481円	10,946円	6,599円
全国平均	47,106円	11,040円	6,532円
全国平均との比較	-9.8%	-0.9%	+1.0%

※グラフは、全国平均の各数値を100と設定

## 1～6 医療費の特徴等（まとめ）

1-a	福井支部の1人当たり医療費（合計）は166,442円で、平均より若干低く <b>全国25位</b> となっています。
1-b	1人当たり医療費（合計）の伸び率については、25～26年度前年度比伸び率、23～26年度対比伸び率で全国平均を上回っています。特に25～26年度前年度比が全国平均を大きく上回っており、福井支部の医療費の伸びが加速していることが伺えます。
2-a	1人当たり <b>入院</b> 医療費は51,568円で、全国でも上位の <b>11位</b> です。昨年度の14位（49,407円）から更に入院医療費が増加しています。
2-b	入院医療費についても25～26年度前年度比、23～26年度対比で全国平均を上回っています。特に25～26年度前年度比が全国平均を大きく上回っており、 <b>福井支部の医療費の伸びの要因は入院医療費にあると推測できます。</b>
2-c	1人当たり入院医療費を年齢・性別で分析すると、男女ともに【0～9歳】の階級で全国的に極めて低い医療費となっています。反対に【50～59歳】、【70～74歳】の階級については、全国的に極めて高くなっており、特に【70～74歳】については男女とも約4万円程の大きな差があります。
3-a	1人当たり <b>入院外</b> 医療費は94,815円で、入院とは反対に全国でも下位の <b>37位</b> です。（入院外医療費には調剤にかかる医療費も含む）
3-b	1人当たり入院外医療費については、25～26年度前年度比が全国平均と同率、23～26年度対比は全国平均を下回っています。福井支部の入院外医療費は例年、全国平均を下回る傾向があります。
3-c	1人当たり入院外医療費を年齢・性別で分析すると、男女ともに概ね全国平均を下回るか同等程度となっており、特に【0～9歳】の階級については、男女ともに極めて低い医療費となっています。
4-a	1人当たり歯科医療費は、24年度までは毎年全国で <b>47位</b> （最も医療費が少ない）でしたが、25年度に <b>46位</b> 、今年度は <b>45位</b> と、着実に医療費が増えています。歯科受診率（1,000人当たり）上昇が要因と思われます。（25年度＝約1,205件、26年度＝約1,259件）
4-b	1人当たり歯科医療費について、金額自体は全国平均を下回っているものの、前年度比、23-26年度対比は全国平均を上回っており、福井支部歯科医療費の伸びが加速していることが伺えます。
5	福井支部の平成26年度1人当たり医療費の全国平均との差についてはマイナスにあるものの、25年度と比較するとその差が小さくなっています。（25年度全国平均との差＝-2,149円。前年度との差額は、全国で12番目にプラス方向に転じている）福井支部の医療費の特徴としては、【入院医療費が高く】、【入院外、歯科医療費は全国平均より低い】ことが挙げられます。
6	医療費を構成する「三要素（P5参照）」と「1人当たり医療費」について福井支部と全国平均を比較すると、『 <b>入院</b> 』の各項目で <b>全国平均を大きく上回り</b> 、逆に『 <b>入院外</b> 』や『 <b>歯科</b> 』では <b>全国平均を下回っており</b> 、特に『 <b>歯科</b> 』では大きな差があります。なお、福井支部の特徴である <b>入院医療費が高い要因として『受診率』と『1件当たり日数』の高さが挙げられます。</b>

## 7-a 疾病分類別入院医療費割合（上位5分類）

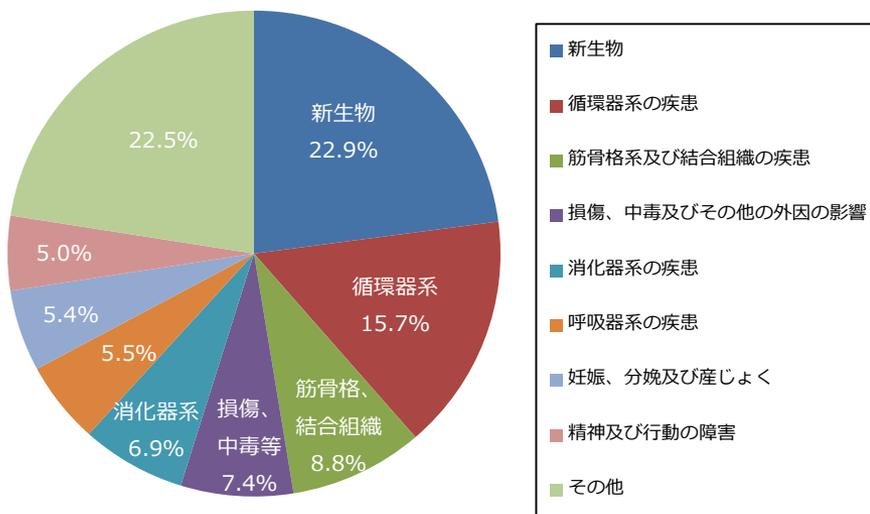
【福井】構成割合上位5疾病分類

順位	疾病分類	構成割合
1	新生物（がん、白血病等）	22.9%
2	循環器系の疾患（高血圧、心疾患、脳梗塞等）	15.7%
3	筋骨格、結合組織の疾患（関節障害、椎間板障害、脊椎障害等）	8.8%
4	損傷、中毒及びその他の外因の影響	7.4%
5	消化器系の疾患（歯肉炎・歯周炎、胃潰瘍、肝硬変）	6.9%

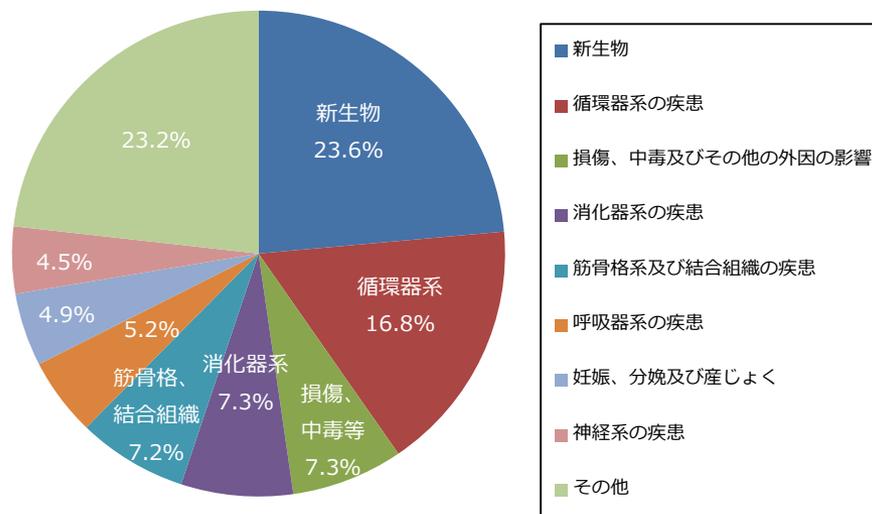
【全国】構成割合上位5疾病分類

順位	疾病分類	構成割合
1	新生物（がん、白血病等）	23.6%
2	循環器系の疾患（高血圧、心疾患、脳梗塞等）	16.8%
3	損傷、中毒及びその他の外因の影響	7.3%
4	消化器系の疾患（歯肉炎・歯周炎、胃潰瘍、肝硬変）	7.3%
5	筋骨格、結合組織の疾患（関節障害、椎間板障害、脊椎障害等）	7.2%

【福井】入院医療費の疾病分類別内訳



【全国】入院医療費の疾病分類別内訳

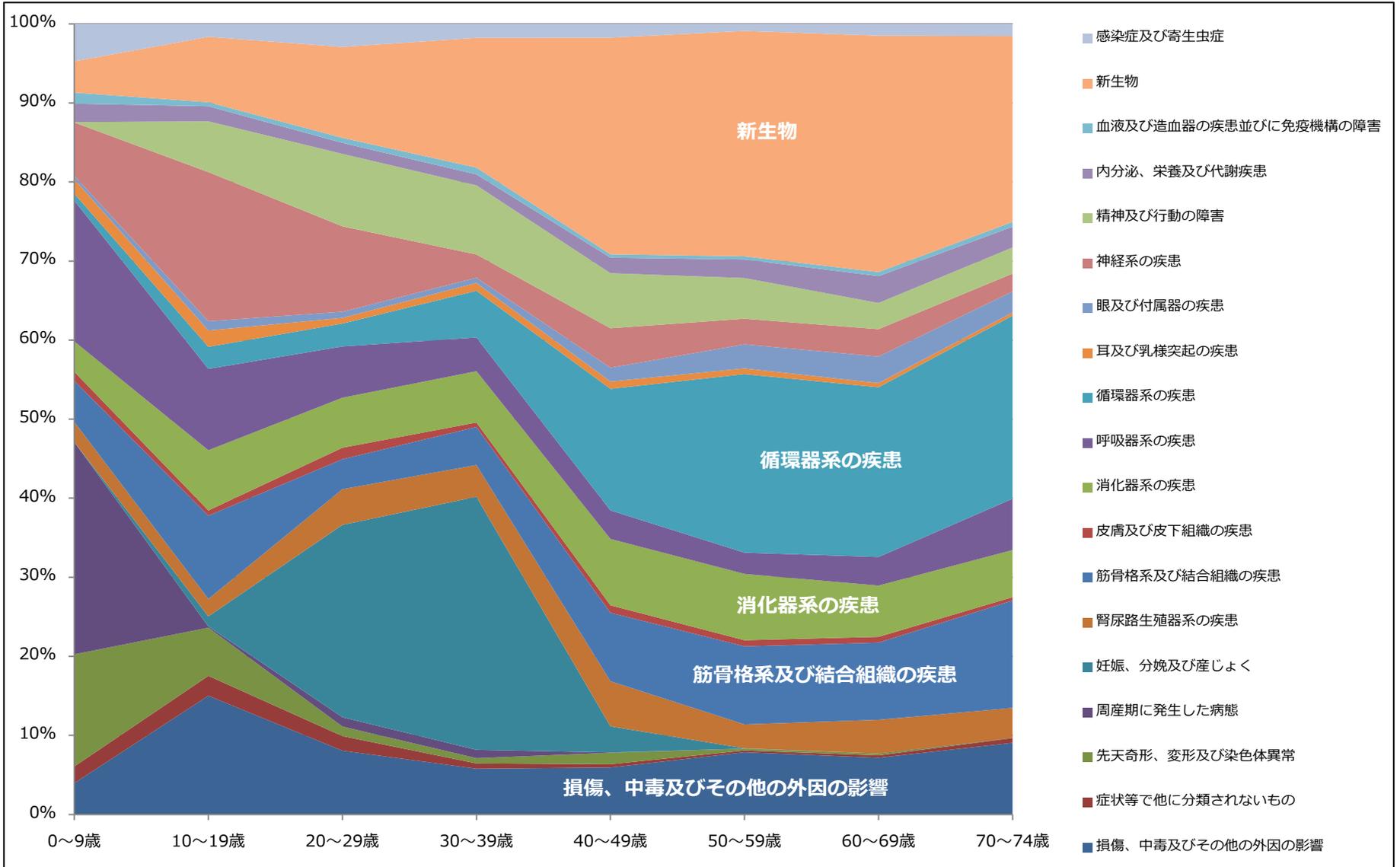


※平成26年4月～平成27年3月分の「入院」レセプトを対象としている。

※レセプトのうち傷病情報と突合できたレセプト情報を使用しており、入院については電子レセプトのみ上記集計の対象としている。

※割合は傷病名が不詳のレセプトを除いた構成割合である。

## 7-b 疾病分類別、年齢階級別入院医療費構成の分布（福井支部）



## 7-c 疾病分類別入院外医療費割合（上位5分類）

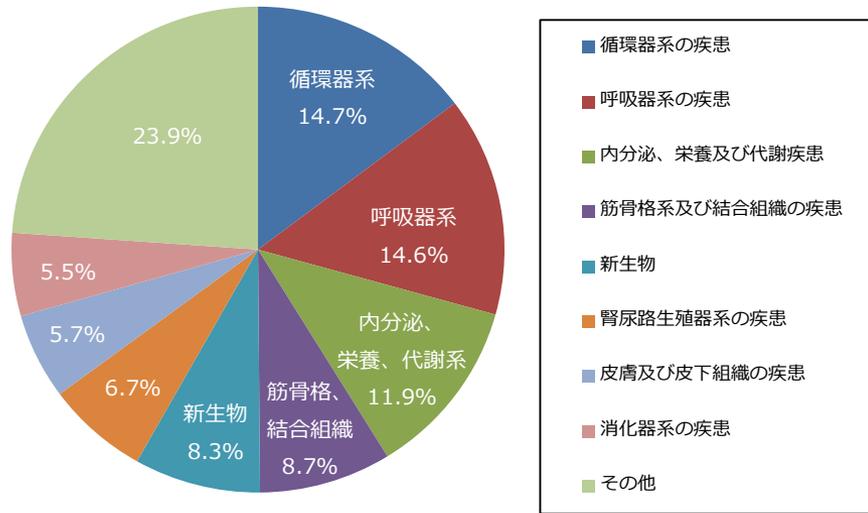
【福井】構成割合上位5疾病分類

順位	疾病分類	構成割合
1	循環器系の疾患（高血圧、心疾患、脳梗塞等）	14.7%
2	呼吸器系の疾患（かぜ、肺炎、気管支炎等）	14.6%
3	内分泌、栄養及び代謝系の疾患（糖尿病、甲状腺障害等）	11.9%
4	筋骨格、結合組織の疾患（関節障害、椎間板障害、脊椎障害等）	8.7%
5	新生物（がん、白血病等）	8.3%

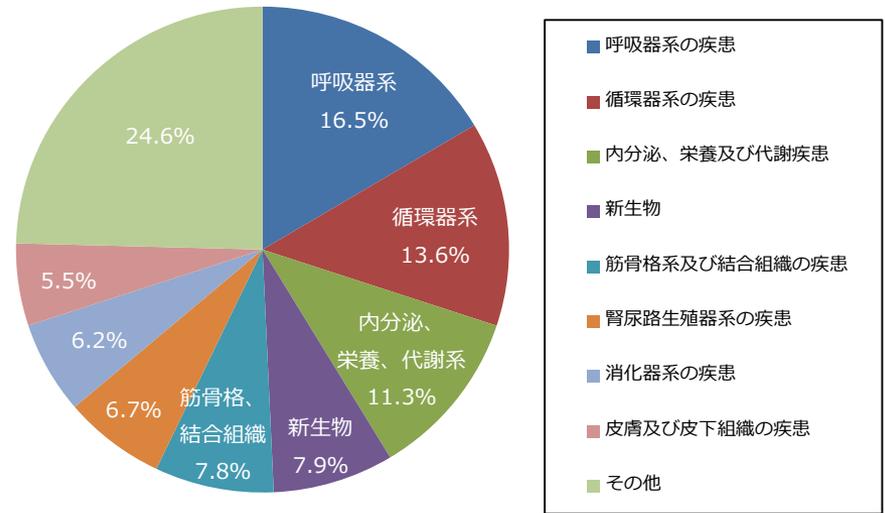
【全国】構成割合上位5疾病分類

順位	疾病分類	構成割合
1	呼吸器系の疾患（かぜ、肺炎、気管支炎等）	16.5%
2	循環器系の疾患（高血圧、心疾患、脳梗塞等）	13.6%
3	内分泌、栄養及び代謝系の疾患（糖尿病、甲状腺障害等）	11.3%
4	新生物（がん、白血病等）	7.9%
5	筋骨格、結合組織の疾患（関節障害、椎間板障害、脊椎障害等）	7.8%

【福井】入院外医療費の疾病分類別内訳



【全国】入院外医療費の疾病分類別内訳

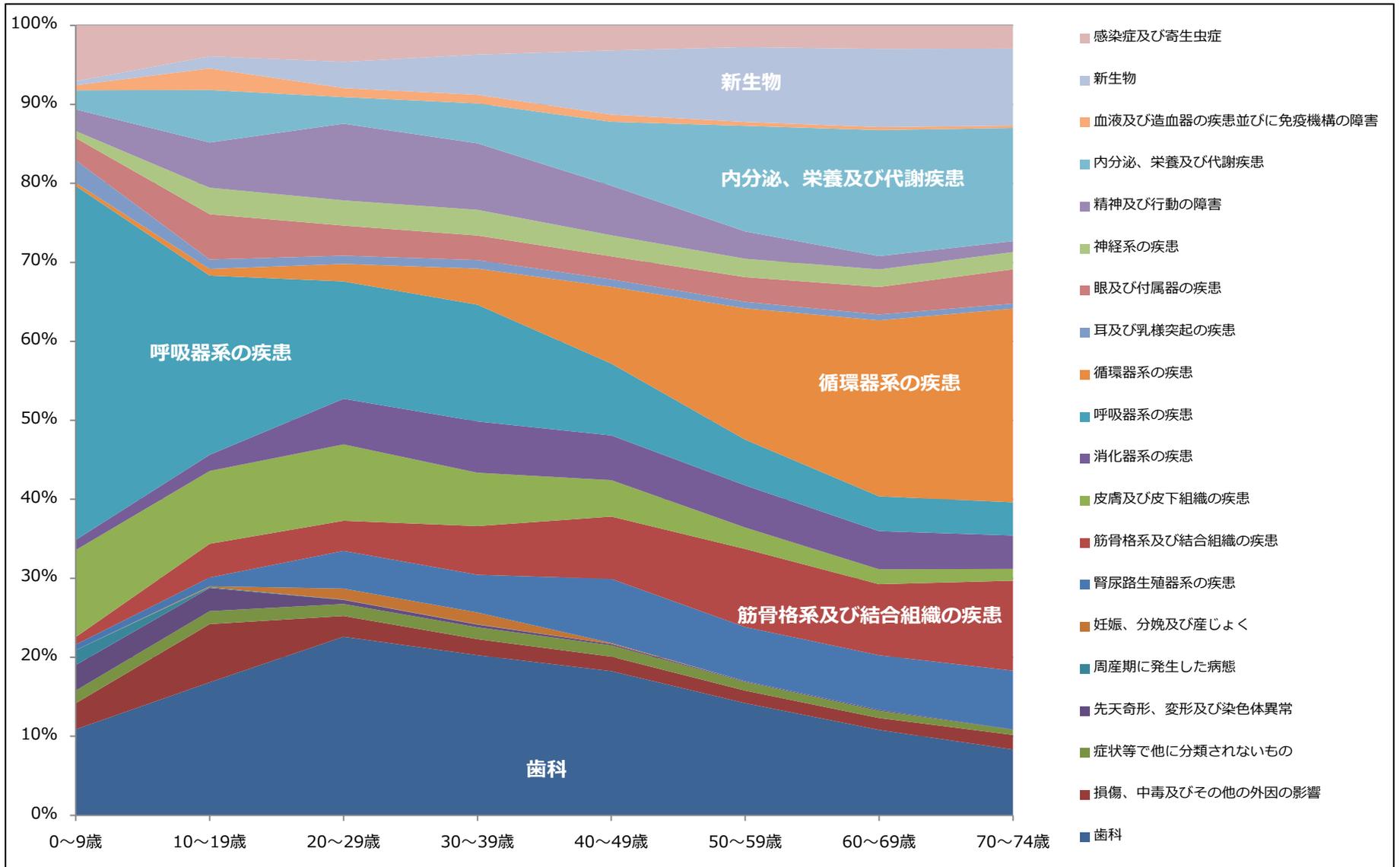


※平成26年4月～平成27年3月分の「入院外」レセプトを対象としている。

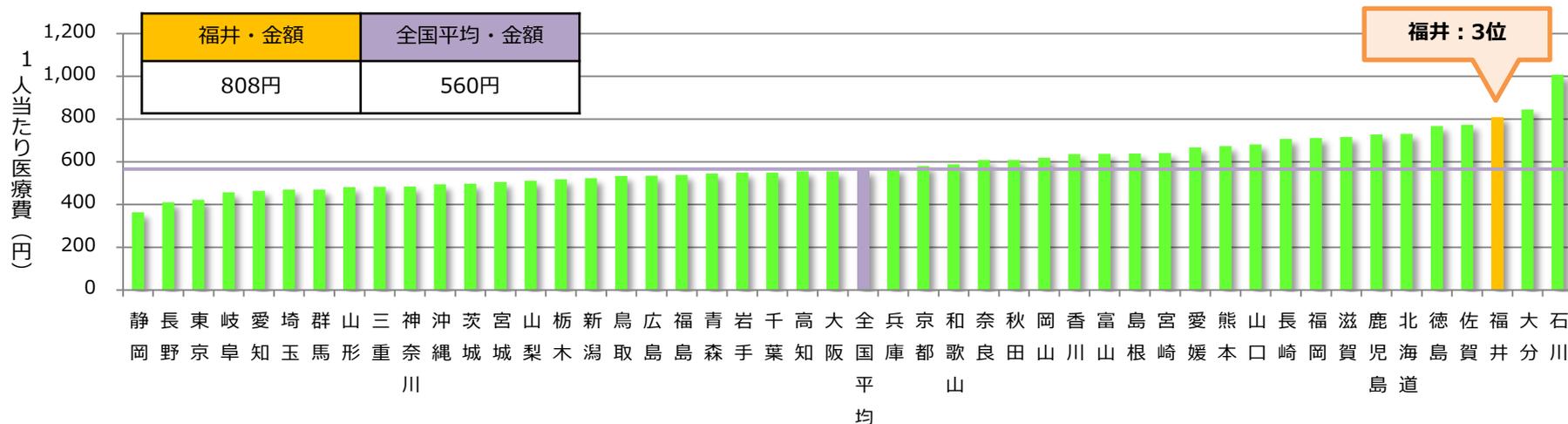
※レセプトのうち傷病情報と突合できたレセプト情報を使用しており、入院外については電子レセプト及び電算機で作成されたレセプト（続紙付レセプトを除く）を上記集計の対象としている。

※割合は傷病名が不詳のレセプトを除いた構成割合である。

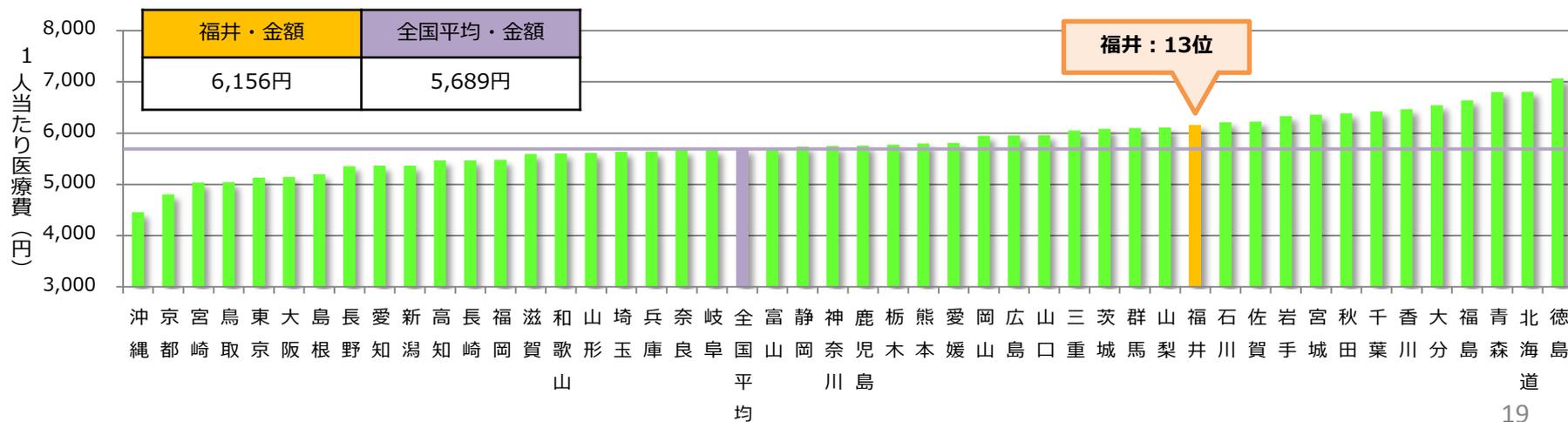
# 7-d 疾病分類別、年齢階級別入院外医療費構成の分布（福井支部）



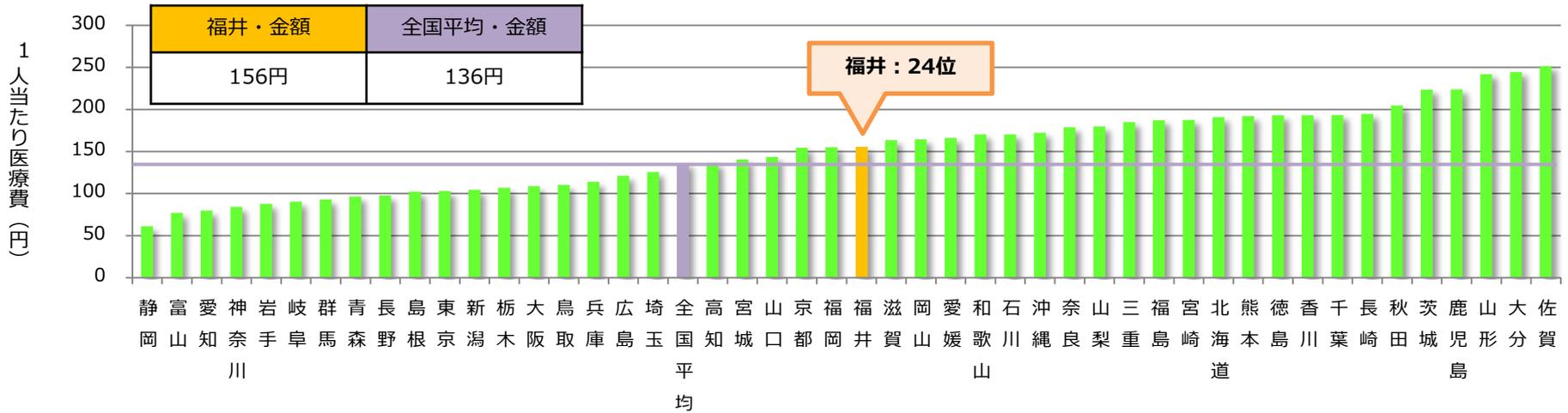
## 8-a 糖尿病にかかる1人当たり入院医療費



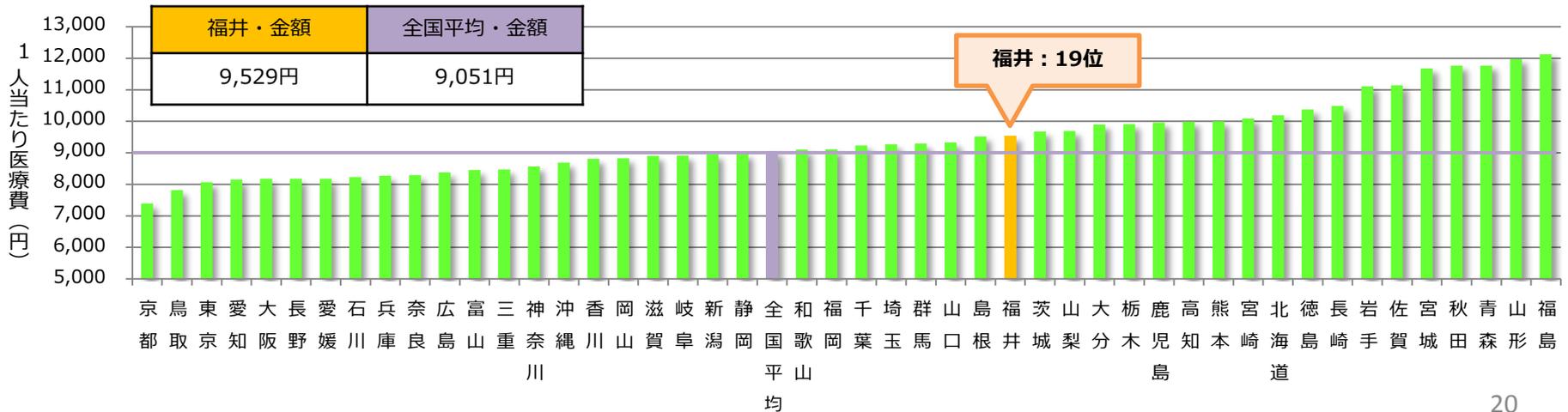
## 8-b 糖尿病にかかる1人当たり入院外医療費



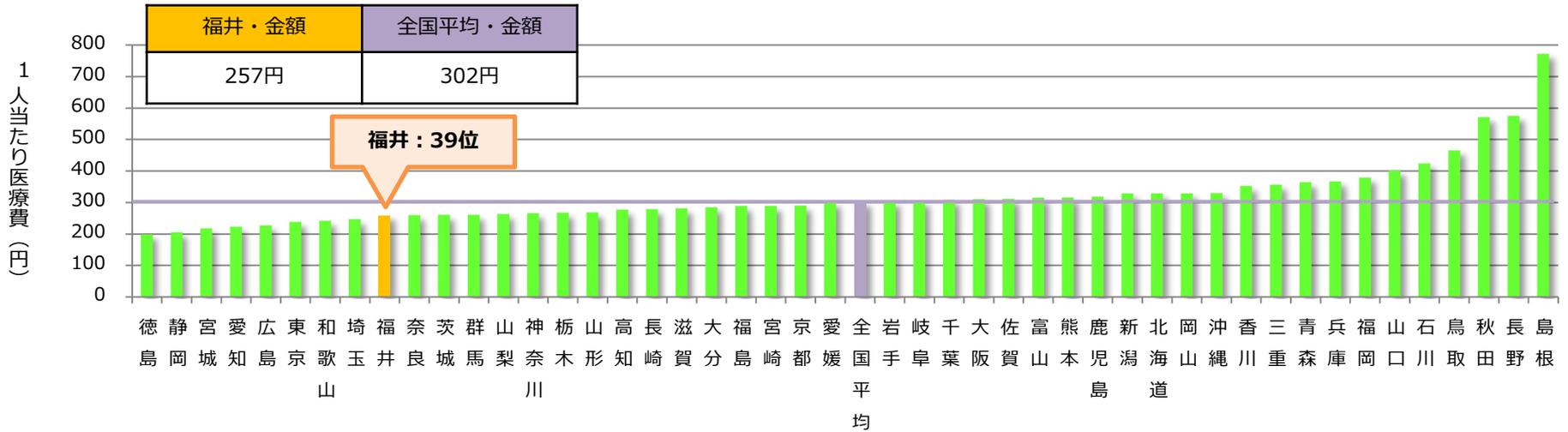
## 9-a 高血圧性疾患にかかる1人当たり入院医療費



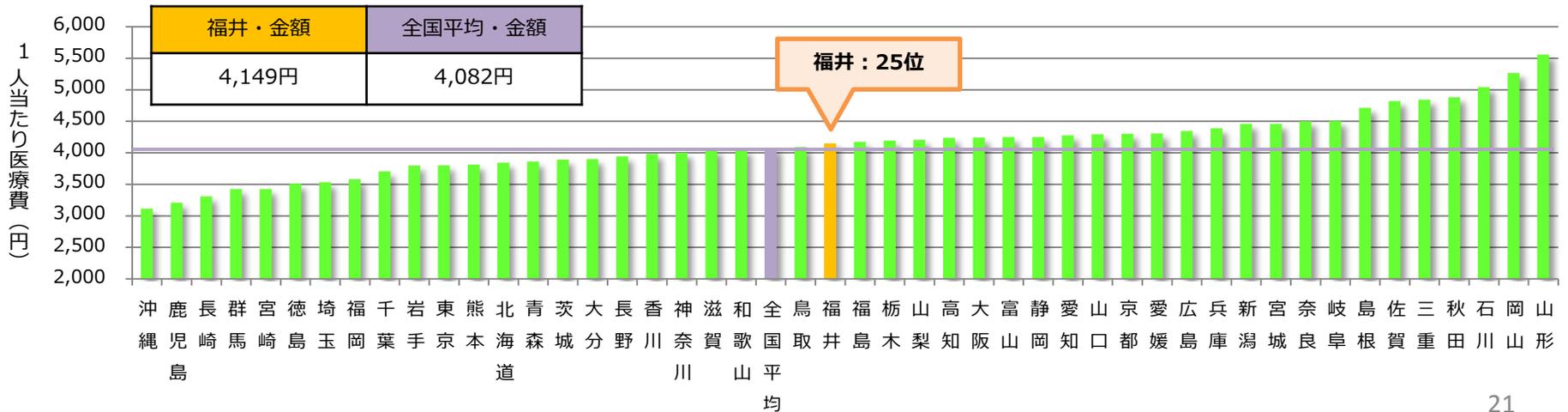
## 9-b 高血圧性疾患にかかる1人当たり入院外医療費



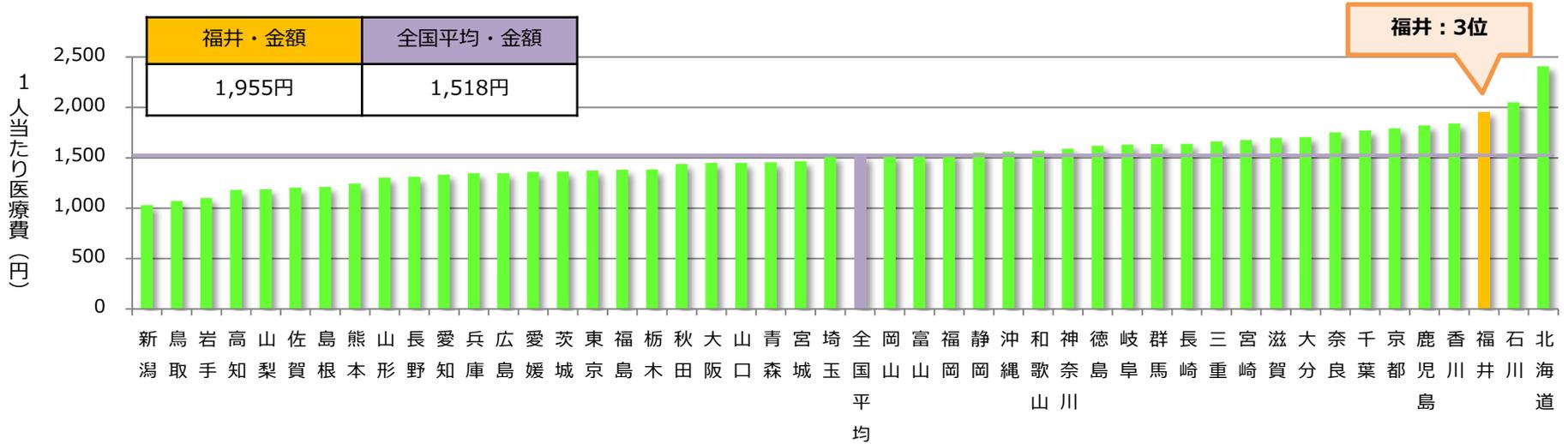
## 10-a 高脂血症等にかかる1人当たり入院医療費



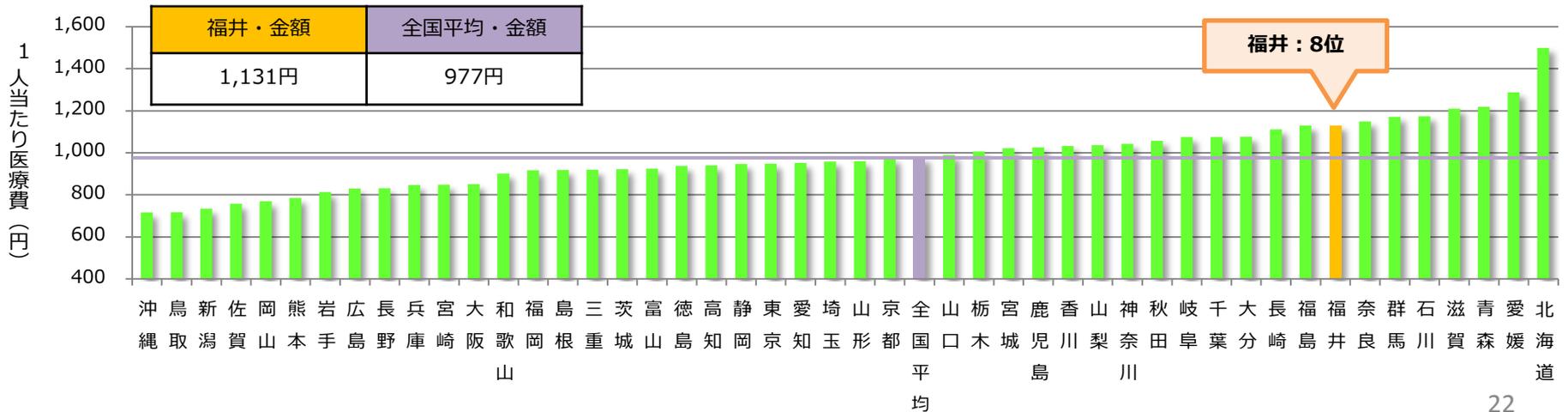
## 10-b 高脂血症等にかかる1人当たり入院外医療費



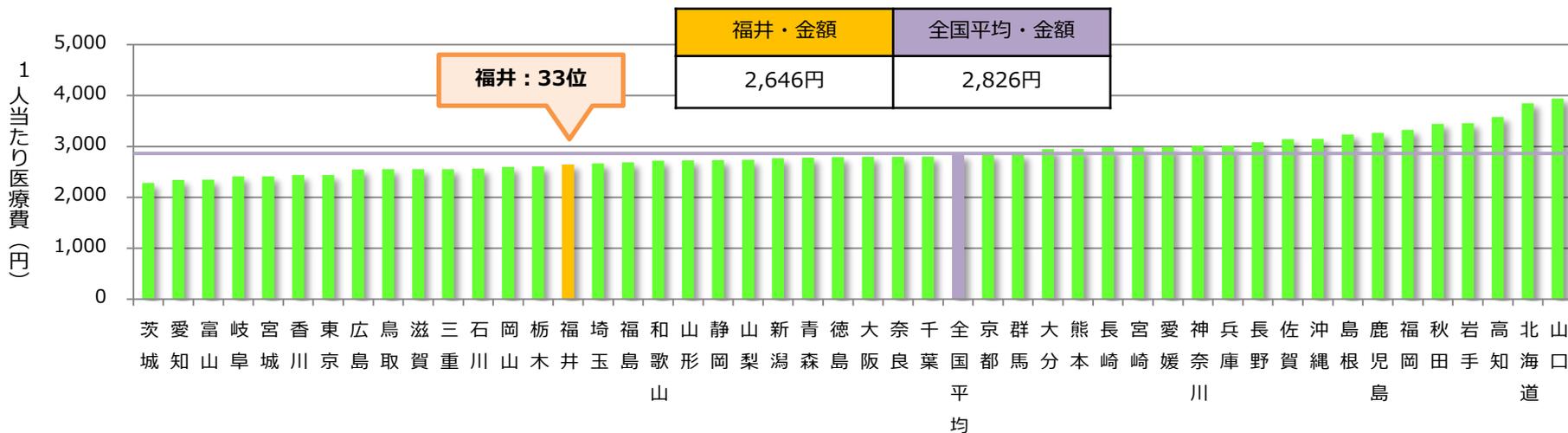
## 11-a 心疾患にかかる1人当たり入院医療費



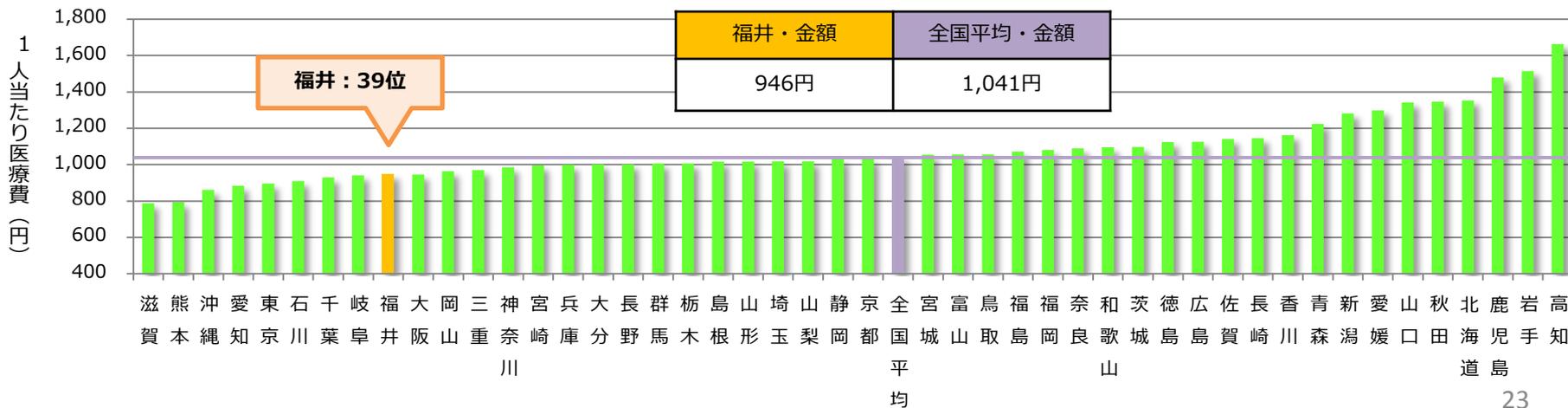
## 11-b 心疾患にかかる1人当たり入院外医療費



## 12-a 脳血管疾患にかかる1人当たり入院医療費



## 12-b 脳血管疾患にかかる1人当たり入院外医療費





## 7～13 疾病別医療費の特徴等（まとめ）

7-a	疾病分類別で入院医療費の割合をみると、福井支部と全国平均ともに『 <b>新生物（がん、白血病等）</b> 』が最も高く、上位の疾病分類は福井、全国ほぼ同様のものとなっています。
7-b	福井支部の入院医療費構成の分布を「疾病分類別」、「年齢階級別」に表しています。 7-aで掲載した上位5疾患についてみると、『新生物』、『循環器系の疾患』は <b>年齢が高くなるにつれ分布が広がり</b> 、『消化器系の疾患』、『筋骨格系及び結合組織の疾患』等は比較的、 <b>全年齢まんべんなく分布</b> していることがわかります。
7-c	疾病分類別での入院外医療費の割合は、『 <b>循環器系（高血圧）</b> 』や『 <b>内分泌、栄養、代謝系（糖尿病）</b> 』など、 <b>生活習慣病にかかるもの</b> が上位となっています。入院医療費の割合でトップであった『新生物』は、入院外では福井、全国ともに低い割合となっています。
7-d	福井支部の入院外医療費構成の分布を「疾病分類別」、「年齢階級別」に表しています。 7-cで掲載した上位5疾患等についてみると、『呼吸器系の疾患』は <b>低年齢層に多く分布</b> しており、『循環器系の疾患』は <b>年齢が高くなるにつれ徐々に分布が広がる</b> ことがわかります。また、歯科については「 <b>20歳代</b> 」をピークに徐々に少なくなっています。
8	a. 福井支部の（以下略） <b>糖尿病</b> 1人当たり入院医療費は808円で、極めて高い <b>全国3位</b> となっています。 b. <b>糖尿病</b> 1人当たり入院外医療費は6,156円で、入院同様、上位の <b>全国13位</b> となっています。 福井支部医療費の特徴として、『入院』、『入院外』ともに糖尿病にかかる医療費が高いということが言えます。
9	a. <b>高血圧性疾患</b> 1人当たり入院医療費は156円で、全国平均を若干上回る <b>全国24位</b> となっています。 b. <b>高血圧性疾患</b> 1人当たり入院外医療費は9,529円で、入院同様、全国平均を上回り <b>全国19位</b> となっています。
10	a. <b>高脂血症等</b> 1人当たり入院医療費は257円で、全国平均を下回る <b>全国39位</b> となっています。 b. <b>高脂血症等</b> 1人当たり入院外医療費は4,149円で、全国平均を若干上回り <b>全国25位</b> となっています。
11	a. <b>心疾患</b> 1人当たり入院医療費は1,955円で、極めて高い <b>全国3位</b> となっています。 b. <b>心疾患</b> 1人当たり入院外医療費は1,131円で、入院同様、極めて高く <b>全国8位</b> となっています。
12	a. <b>脳血管疾患</b> 1人当たり入院医療費は2,646円で、全国平均を下回る <b>全国33位</b> となっています。 b. <b>脳血管疾患</b> 1人当たり入院外医療費は946円で、入院同様、全国平均を下回り <b>全国39位</b> となっています。
13	a. <b>悪性新生物（がん）</b> 1人当たり入院医療費は8,779円で、極めて高い <b>全国11位</b> となっています。 b. <b>悪性新生物（がん）</b> 1人当たり入院外医療費は6,048円で、全国平均を上回り <b>全国18位</b> となっています。

## Ⅱ．二次医療圏別にみた医療費について

データ：協会けんぽ居住地郵便番号別医療費基本情報（平成26年度）

※加入者数は年度平均として算出しているため、端数整理の関係上、計数が合致しない場合がある。

※医療費は社会保険診療報酬支払基金審査分（入院、入院外、歯科、調剤、入院時食事療養費・生活療養費、訪問看護療養費）、療養費（柔道整復療養費等）、移送費にかかるものであり、「その他」は入院、入院外、歯科、調剤以外の医療費を指す。

※県外居住者、不明分は除く。

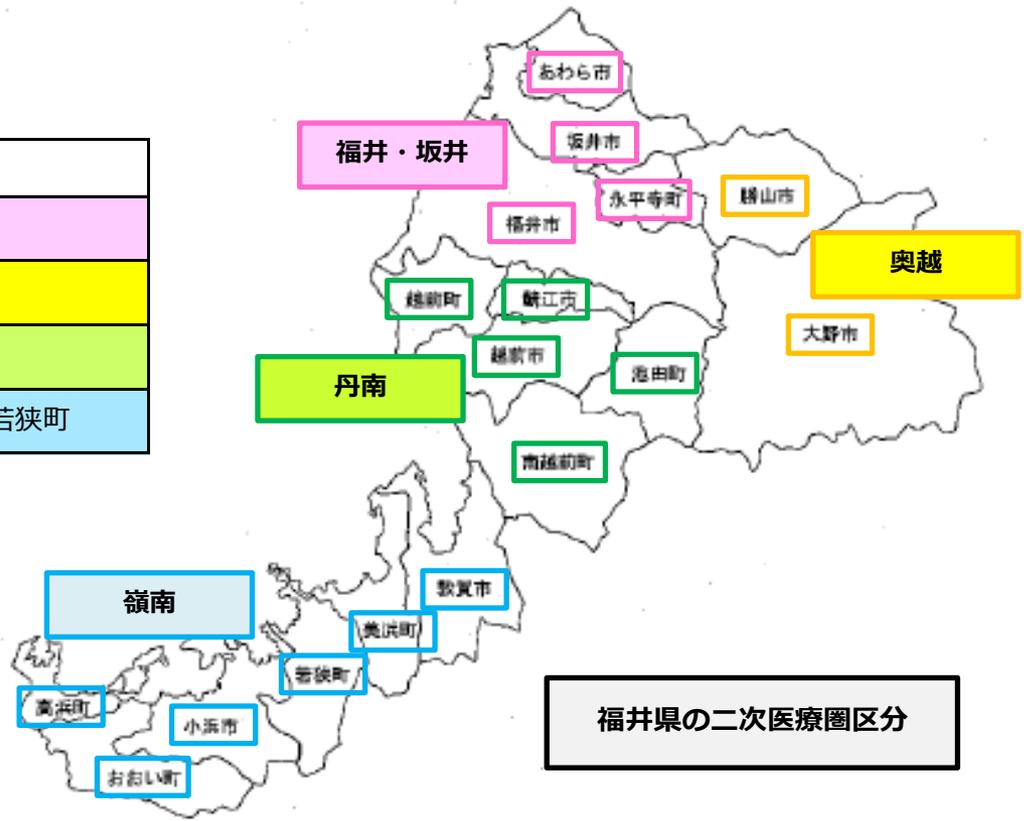
# 二次医療圏とは？

「**地理的条件等の自然的条件**及び**日常生活の需要の充足状況**、**交通事情等の社会的条件**を考慮して、  
 一体の区域として病院及び診療所における『入院にかかる医療を提供する体制の確保を図ることが  
 相当であると認められるもの』を単位として認定すること（医療法施行規則第39条の29第2項）」  
 と規定されており、**複数の市町村を一つの単位として設定したもの。**



## 福井県の二次医療圏

二次医療圏	該当市町
福井・坂井	福井市、あわら市、坂井市、永平寺町
奥越	大野市、勝山市
丹南	鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町
嶺南	敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町

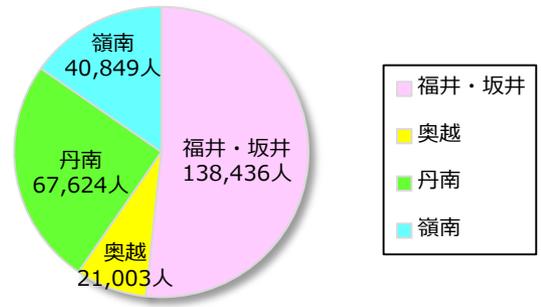


福井県の二次医療圏区分

# 二次医療圏別加入者情報 基本データ

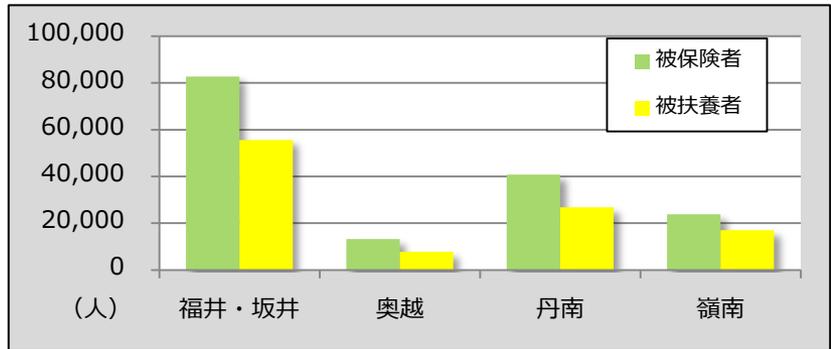
## ①二次医療圏別の加入者数及び構成割合

二次医療圏	加入者数	構成割合
福井・坂井	138,436人	51.7%
奥越	21,003人	7.8%
丹南	67,624人	25.2%
嶺南	40,849人	15.2%
<b>合計</b>	<b>267,912人</b>	<b>100.0%</b>



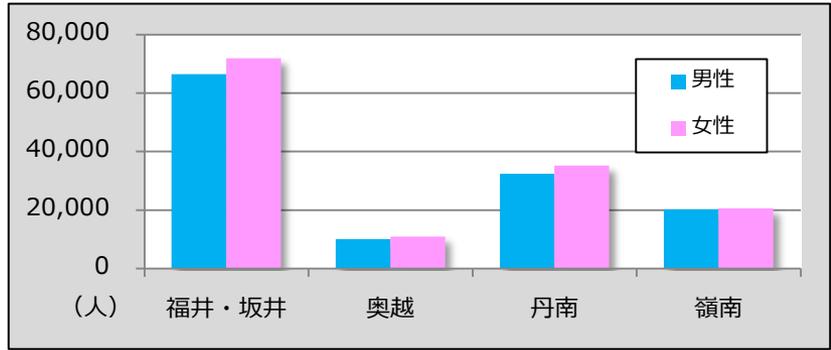
## ②本人家族別でみた加入者数及び構成割合

二次医療圏	加入者数	被保険者	被扶養者
		(カッコ内は構成割合)	(カッコ内は構成割合)
福井・坂井	138,436人	82,792人 (30.9%)	55,643人 (20.8%)
奥越	21,003人	13,221人 (4.9%)	7,782人 (2.9%)
丹南	67,624人	40,810人 (15.2%)	26,814人 (10.0%)
嶺南	40,849人	23,843人 (8.9%)	17,007人 (6.3%)
<b>合計</b>	<b>267,912人</b>	<b>160,666人 (60.0%)</b>	<b>107,246人 (40.0%)</b>



## ③性別でみた加入者数及び構成割合

二次医療圏	加入者数	男性	女性
		(カッコ内は構成割合)	(カッコ内は構成割合)
福井・坂井	138,436人	66,517人 (24.8%)	71,918人 (26.8%)
奥越	21,003人	10,027人 (3.7%)	10,976人 (4.1%)
丹南	67,624人	32,390人 (12.1%)	35,234人 (13.2%)
嶺南	40,849人	20,246人 (7.6%)	20,604人 (7.7%)
<b>合計</b>	<b>267,912人</b>	<b>129,180人 (48.2%)</b>	<b>138,732人 (51.8%)</b>



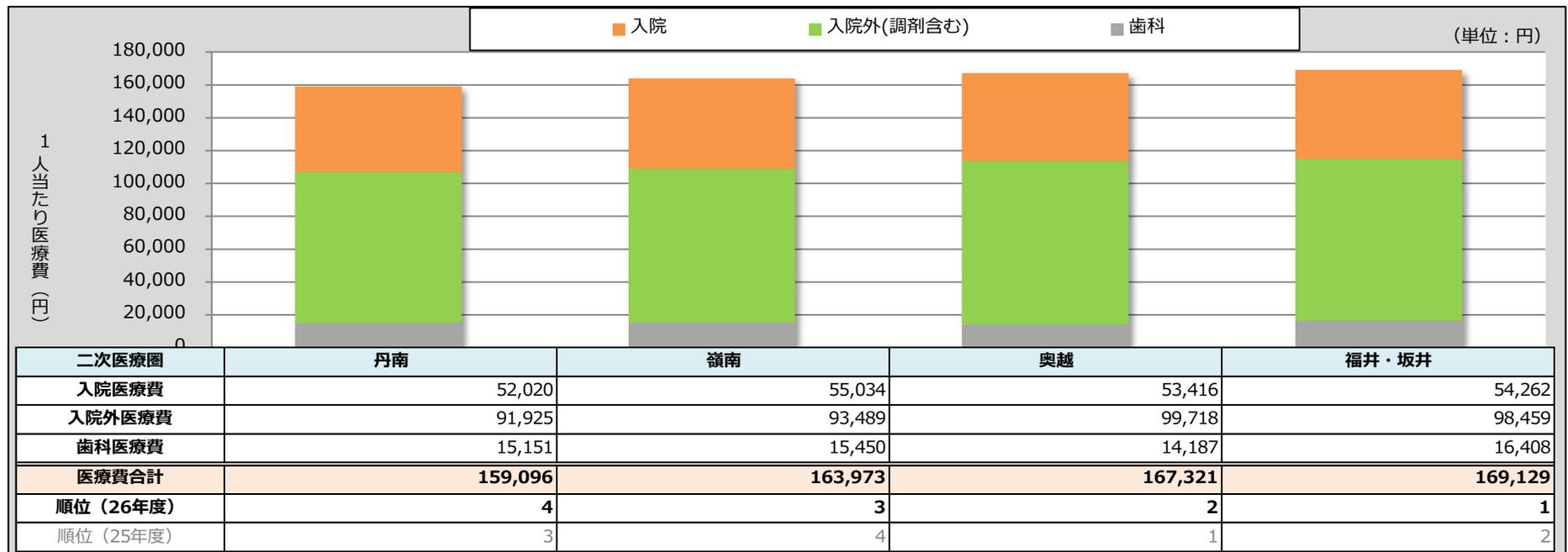
# 二次医療圏別加入者情報 基本データ

④年齢階級別でみた加入者数及び構成割合

(単位：人)

二次医療圏	0～9歳		10～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～74歳		合計
	加入者数	割合	加入者数	割合													
福井・坂井	15,540	11.2%	17,099	12.4%	18,732	13.5%	22,341	16.1%	23,533	17.0%	20,952	15.1%	17,045	12.3%	3,193	2.3%	138,436
奥越	2,069	9.9%	2,566	12.2%	2,953	14.1%	3,285	15.6%	3,179	15.1%	3,790	18.0%	2,722	13.0%	438	2.1%	21,003
丹南	7,490	11.1%	9,064	13.4%	9,070	13.4%	10,900	16.1%	11,604	17.2%	10,404	15.4%	7,596	11.2%	1,497	2.2%	67,624
額南	4,493	11.0%	5,369	13.1%	5,297	13.0%	6,343	15.5%	6,709	16.4%	6,665	16.3%	5,115	12.5%	859	2.1%	40,849
<b>合計</b>	<b>29,592</b>	<b>11.0%</b>	<b>34,098</b>	<b>12.7%</b>	<b>36,052</b>	<b>13.5%</b>	<b>42,869</b>	<b>16.0%</b>	<b>45,025</b>	<b>16.8%</b>	<b>41,811</b>	<b>15.6%</b>	<b>32,478</b>	<b>12.1%</b>	<b>5,987</b>	<b>2.2%</b>	<b>267,912</b>

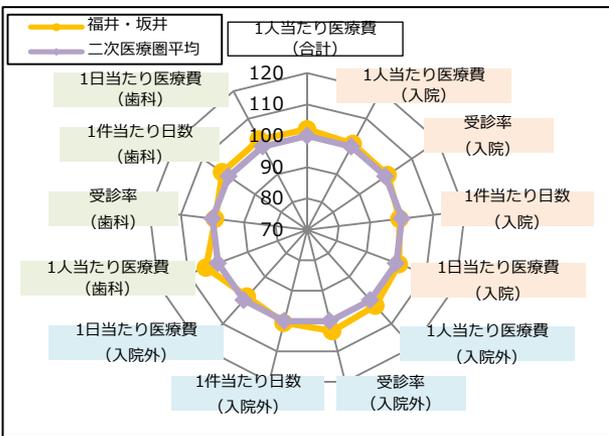
## 14 二次医療圏別 1人当たり医療費



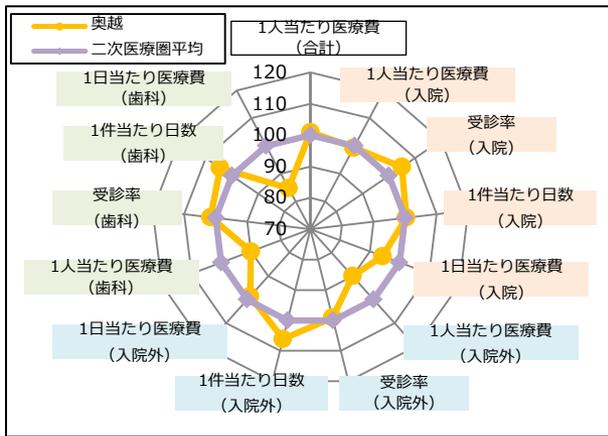
15 医療費比較レーダーチャート ～二次医療圏と二次医療圏平均の比較～ ※グラフは、二次医療圏平均の各数値を100と設定

医療費を構成する「三要素」と「1人当たり医療費」について、【二次医療圏ごと】に【二次医療圏平均】と比較しています。

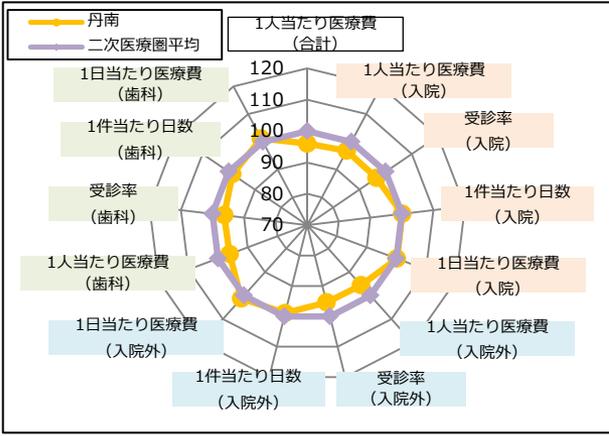
【福井・坂井】



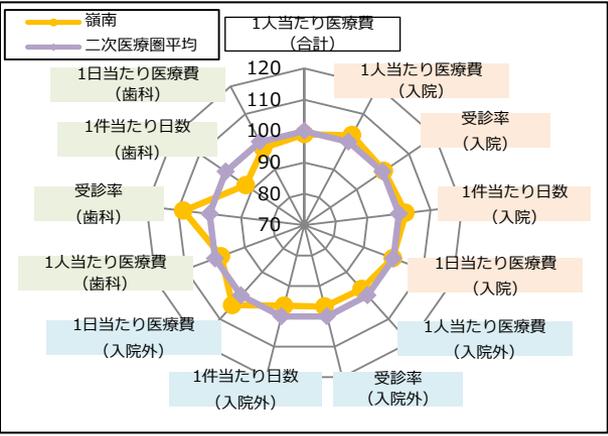
【奥越】



【丹南】



【嶺南】



## 14～15 二次医療圏別医療費の特徴等（まとめ）

14	<p>二次医療圏別でみた福井支部の1人当たり医療費については、<b>【福井・坂井地域】が最も高く、【丹南地域】が最も低く</b>なっています。上記2地区の医療費には10,033円の差があり、特に入院外医療費の6,534円の差が大きなものとなっています。</p>
15	<p><b>【福井・坂井】</b>  入院外、歯科の「1人当たり医療費」が二次医療圏平均より若干高くなっています。入院外は「受診率」、歯科は「1件当たり日数」の高さが影響していると思われます。</p> <p><b>【奥越】</b>  入院外、歯科の「1人当たり医療費」が平均より低いものの、それぞれ「1件当たり日数」は平均より高くなっています。また、入院については「受診率」が平均より高くなっています。</p> <p><b>【丹南】</b>  全ての診療種別で平均より低い項目が目立ち、特に「1人当たり医療費」、「受診率」での低さが目立っています。</p> <p><b>【嶺南】</b>  歯科の受診率が突出して高くなっていますが、「1人当たり医療費」、「1件当たり日数」は平均より低くなっています。また、入院については平均より若干高い項目が目立ち、反対に入院外については平均より低い項目が目立ちます。</p>

## Ⅲ. 市町別にみた医療費について

データ：協会けんぽ居住地郵便番号別医療費基本情報（平成26年度）

※加入者数は年度平均として算出しているため、端数整理の関係上、計数が合致しない場合がある。

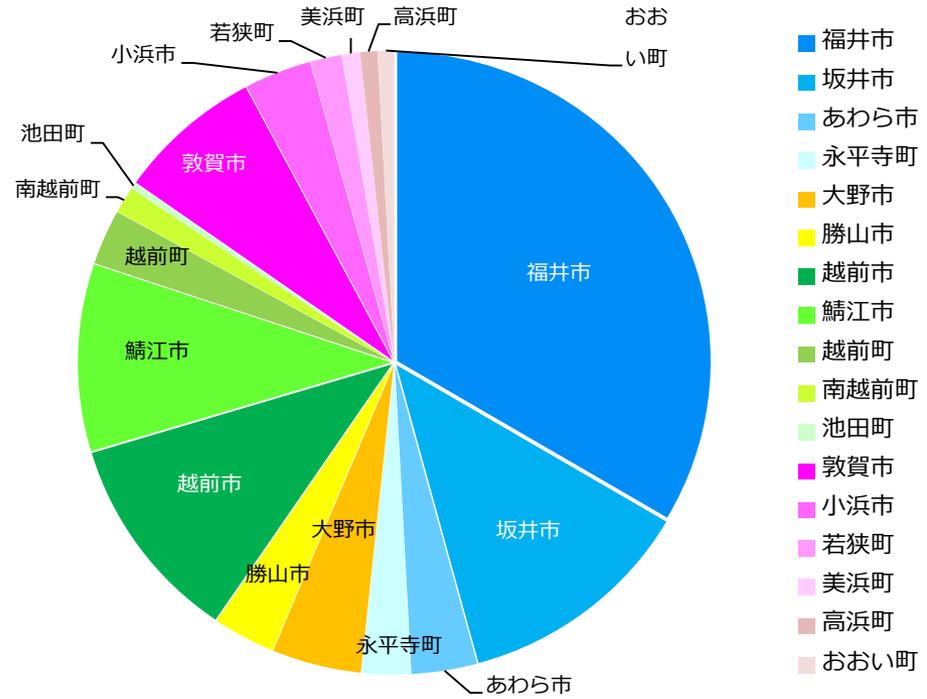
※医療費は社会保険診療報酬支払基金審査分（入院、入院外、歯科、調剤、入院時食事療養費・生活療養費、訪問看護療養費）、療養費（柔道整復療養費等）、移送費にかかるものであり、「その他」は入院、入院外、歯科、調剤以外の医療費を指す。

※県外居住者、不明分は除く。

# 市町別加入者情報 基本データ

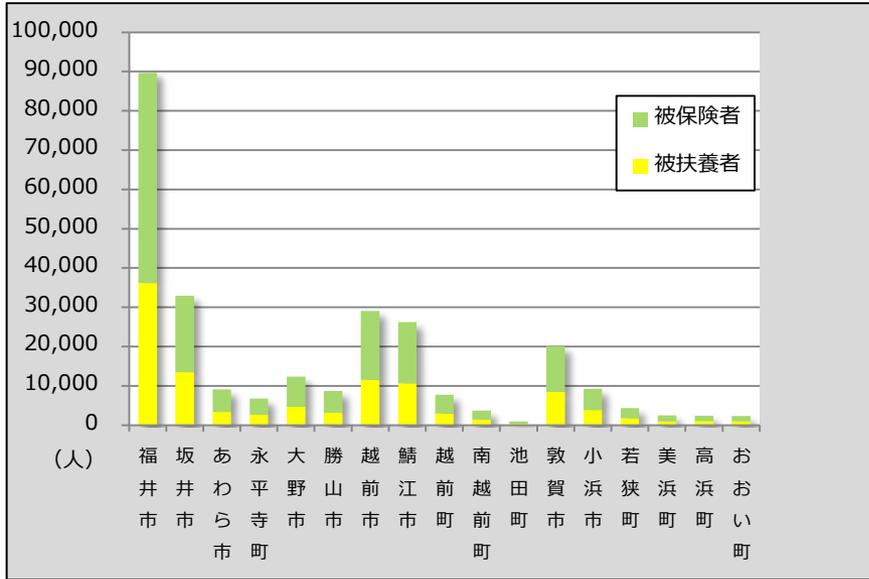
## ①市町別の加入者数及び構成割合

市町	加入者数	構成割合
福井市	89,666人	33.5%
坂井市	32,966人	12.3%
あわら市	9,071人	3.4%
永平寺町	6,733人	2.5%
大野市	12,331人	4.6%
勝山市	8,672人	3.2%
越前市	29,069人	10.9%
鯖江市	26,213人	9.8%
越前町	7,718人	2.9%
南越前町	3,708人	1.4%
池田町	916人	0.3%
敦賀市	20,091人	7.5%
小浜市	9,256人	3.5%
若狭町	4,343人	1.6%
美浜町	2,505人	0.9%
高浜町	2,376人	0.9%
おおい町	2,278人	0.9%
<b>合計</b>	<b>267,912人</b>	<b>100.0%</b>



## ②本人家族別でみた加入者数及び構成割合

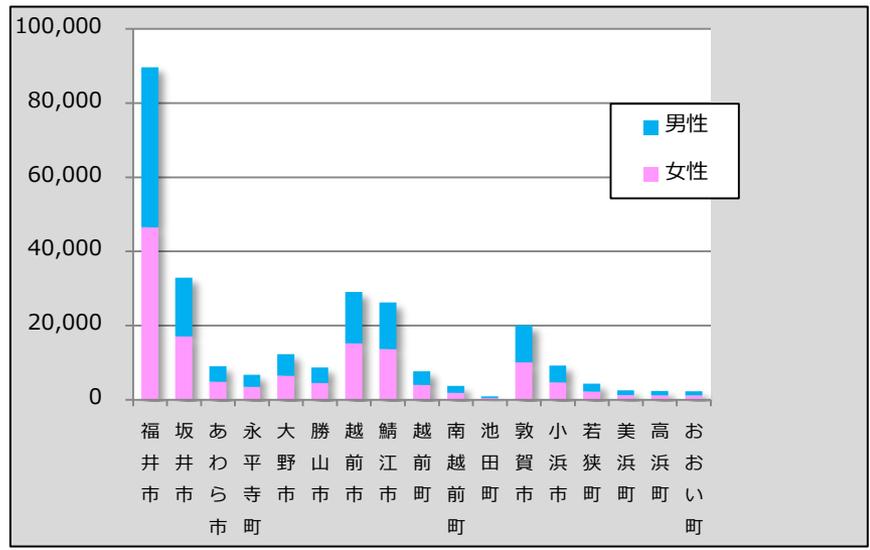
市町	加入者数	被保険者 (カッコ内は構成割合)		被扶養者 (カッコ内は構成割合)	
		人数	割合	人数	割合
福井市	89,666人	53,479人	(20.0%)	36,186人	(13.5%)
坂井市	32,966人	19,541人	(7.3%)	13,425人	(5.0%)
あわら市	9,071人	5,686人	(2.1%)	3,385人	(1.2%)
永平寺町	6,733人	4,086人	(1.5%)	2,647人	(1.0%)
大野市	12,331人	7,698人	(2.9%)	4,634人	(1.7%)
勝山市	8,672人	5,524人	(2.1%)	3,148人	(1.1%)
越前市	29,069人	17,529人	(6.5%)	11,540人	(4.3%)
鯖江市	26,213人	15,584人	(5.8%)	10,629人	(4.0%)
越前町	7,718人	4,779人	(1.8%)	2,939人	(1.1%)
南越前町	3,708人	2,304人	(0.9%)	1,404人	(0.5%)
池田町	916人	614人	(0.2%)	302人	(0.1%)
敦賀市	20,091人	11,603人	(4.3%)	8,489人	(3.2%)
小浜市	9,256人	5,372人	(2.0%)	3,883人	(1.4%)
若狭町	4,343人	2,573人	(1.0%)	1,771人	(0.7%)
美浜町	2,505人	1,563人	(0.6%)	942人	(0.4%)
高浜町	2,376人	1,381人	(0.5%)	995人	(0.4%)
おおい町	2,278人	1,351人	(0.5%)	928人	(0.3%)
<b>合計</b>	<b>267,912人</b>	<b>160,666人</b>	<b>(60.0%)</b>	<b>107,246人</b>	<b>(40.0%)</b>



# 市町別加入者情報 基本データ

## ③男女別でみた加入者数及び構成割合

市町	加入者数	男性 (カッコ内は構成割合)		女性 (カッコ内は構成割合)	
		加入者数	割合	加入者数	割合
福井市	89,666人	43,161人	(16.1%)	46,505人	(17.4%)
坂井市	32,966人	15,881人	(5.9%)	17,085人	(6.4%)
あわら市	9,071人	4,213人	(1.6%)	4,857人	(1.8%)
永平寺町	6,733人	3,262人	(1.2%)	3,471人	(1.3%)
大野市	12,331人	5,859人	(2.2%)	6,472人	(2.4%)
勝山市	8,672人	4,167人	(1.6%)	4,504人	(1.7%)
越前市	29,069人	13,873人	(5.2%)	15,196人	(5.7%)
鯖江市	26,213人	12,525人	(4.7%)	13,689人	(5.1%)
越前町	7,718人	3,742人	(1.4%)	3,976人	(1.5%)
南越前町	3,708人	1,818人	(0.7%)	1,890人	(0.7%)
池田町	916人	433人	(0.2%)	483人	(0.2%)
敦賀市	20,091人	9,998人	(3.7%)	10,094人	(3.8%)
小浜市	9,256人	4,584人	(1.7%)	4,672人	(1.7%)
若狭町	4,343人	2,116人	(0.8%)	2,227人	(0.8%)
美浜町	2,505人	1,246人	(0.5%)	1,260人	(0.5%)
高浜町	2,376人	1,186人	(0.4%)	1,190人	(0.4%)
おおい町	2,278人	1,116人	(0.4%)	1,162人	(0.4%)
<b>合計</b>	<b>267,912人</b>	<b>129,180人</b>	<b>(48.2%)</b>	<b>138,732人</b>	<b>(51.8%)</b>

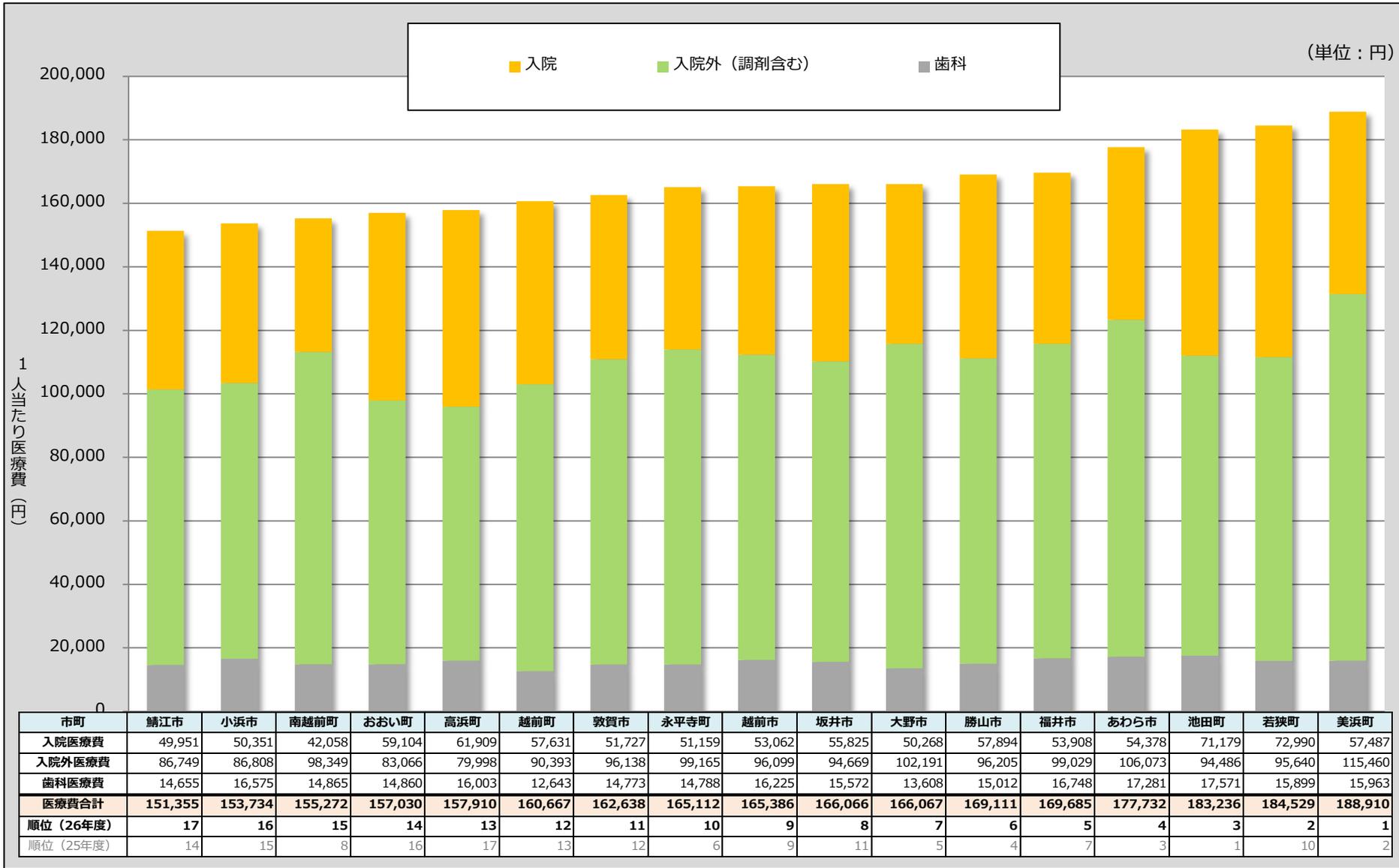


## ④年齢階級別でみた加入者数及び構成割合

(単位：人)

市町	0～9歳		10～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～74歳		合計
	加入者数	割合	加入者数	割合													
福井市	10,112	34.2%	10,696	31.4%	12,089	33.5%	14,662	34.2%	15,259	33.9%	13,410	32.1%	11,323	34.9%	2,115	35.3%	89,666
坂井市	3,826	12.9%	4,406	12.9%	4,457	12.4%	5,255	12.3%	5,686	12.6%	4,988	11.9%	3,646	11.2%	704	11.8%	32,968
あわら市	880	3.0%	1,094	3.2%	1,268	3.5%	1,369	3.2%	1,439	3.2%	1,570	3.8%	1,227	3.8%	223	3.7%	9,070
永平寺町	723	2.4%	904	2.7%	919	2.5%	1,056	2.5%	1,149	2.6%	984	2.4%	848	2.6%	151	2.5%	6,734
大野市	1,231	4.2%	1,525	4.5%	1,717	4.8%	1,931	4.5%	1,853	4.1%	2,231	5.3%	1,577	4.9%	266	4.4%	12,331
勝山市	838	2.8%	1,041	3.1%	1,236	3.4%	1,354	3.2%	1,326	2.9%	1,559	3.7%	1,144	3.5%	173	2.9%	8,671
越前市	3,081	10.4%	3,970	11.6%	3,890	10.8%	4,563	10.6%	4,948	11.0%	4,511	10.8%	3,433	10.6%	674	11.3%	29,070
鯖江市	3,157	10.7%	3,459	10.1%	3,400	9.4%	4,482	10.5%	4,693	10.4%	3,767	9.0%	2,675	8.2%	580	9.7%	26,213
越前町	794	2.7%	1,022	3.0%	1,078	3.0%	1,173	2.7%	1,302	2.9%	1,283	3.1%	908	2.8%	159	2.7%	7,719
南越前町	381	1.3%	512	1.5%	562	1.6%	553	1.3%	530	1.2%	638	1.5%	465	1.4%	68	1.1%	3,709
池田町	78	0.3%	102	0.3%	140	0.4%	128	0.3%	132	0.3%	205	0.5%	116	0.4%	16	0.3%	917
敦賀市	2,277	7.7%	2,588	7.6%	2,609	7.2%	3,229	7.5%	3,414	7.6%	3,138	7.5%	2,472	7.6%	364	6.1%	20,091
小浜市	1,009	3.4%	1,277	3.7%	1,111	3.1%	1,378	3.2%	1,507	3.3%	1,572	3.8%	1,175	3.6%	227	3.8%	9,256
若狭町	473	1.6%	583	1.7%	622	1.7%	622	1.5%	659	1.5%	745	1.8%	542	1.7%	98	1.6%	4,344
美浜町	238	0.8%	272	0.8%	338	0.9%	402	0.9%	371	0.8%	433	1.0%	382	1.2%	69	1.2%	2,505
高浜町	231	0.8%	337	1.0%	329	0.9%	378	0.9%	389	0.9%	381	0.9%	272	0.8%	58	1.0%	2,375
おおい町	265	0.9%	313	0.9%	289	0.8%	334	0.8%	369	0.8%	395	0.9%	273	0.8%	42	0.7%	2,280
<b>合計</b>	<b>29,594</b>	<b>11.0%</b>	<b>34,101</b>	<b>12.7%</b>	<b>36,054</b>	<b>13.5%</b>	<b>42,869</b>	<b>16.0%</b>	<b>45,026</b>	<b>16.8%</b>	<b>41,810</b>	<b>15.6%</b>	<b>32,478</b>	<b>12.1%</b>	<b>5,987</b>	<b>2.2%</b>	<b>267,912</b>

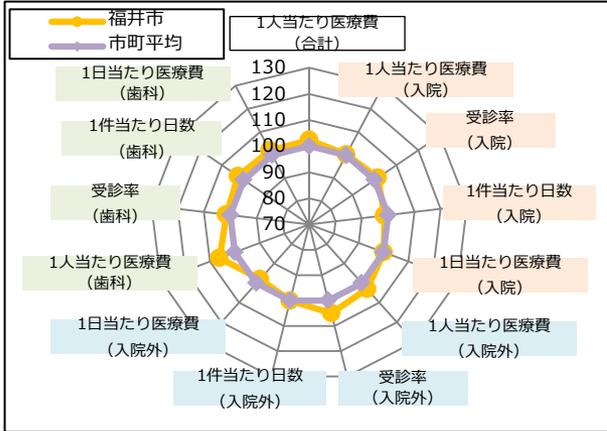
# 16 市町別 1人当たり医療費



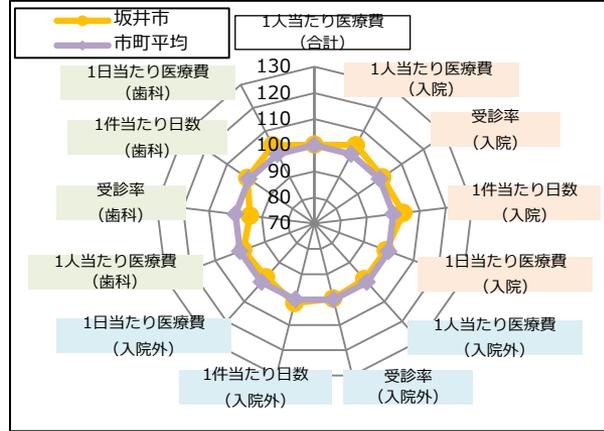
# 17-a 医療費比較レーダーチャート ～市町と市町平均の比較①～ ※グラフは、市町平均の各数値を100と設定

医療費を構成する「三要素」と「1人当たり医療費」について、【市町ごと】に【市町平均】と比較しています。

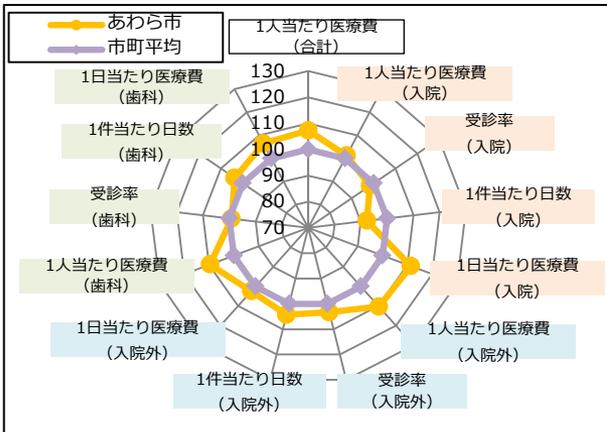
## 【福井市】



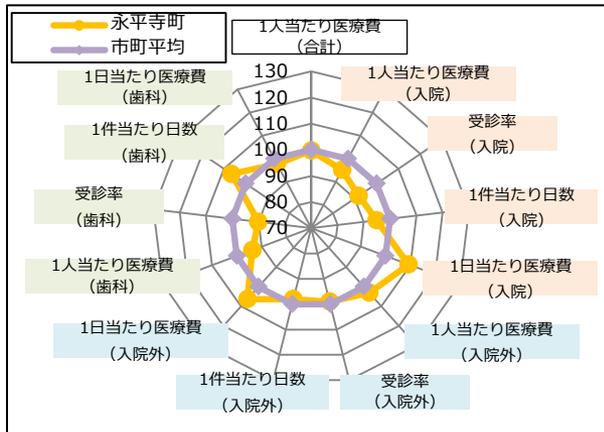
## 【坂井市】



## 【あわら市】

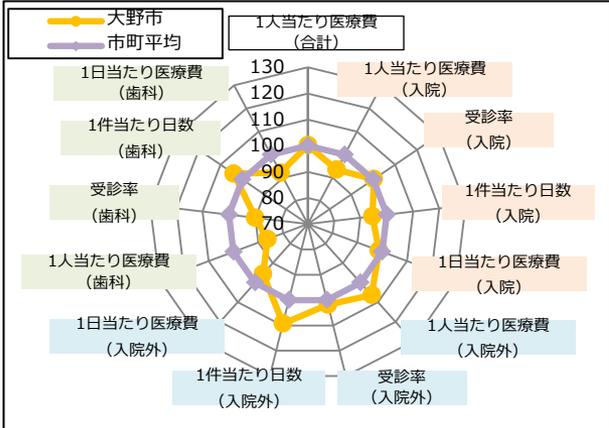


## 【永平寺町】

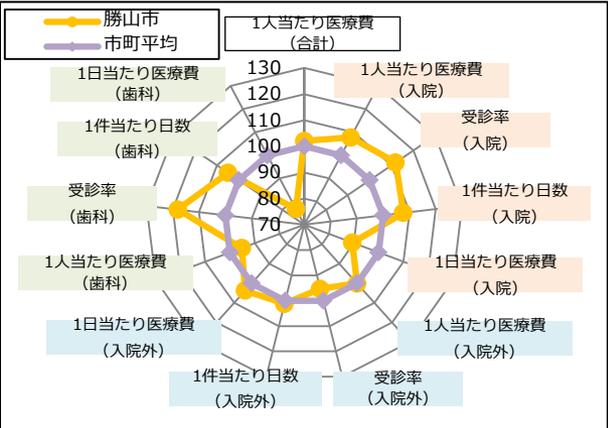


17-b 医療費比較レーダーチャート ～市町と市町平均の比較②～ ※グラフは、市町平均の各数値を100と設定

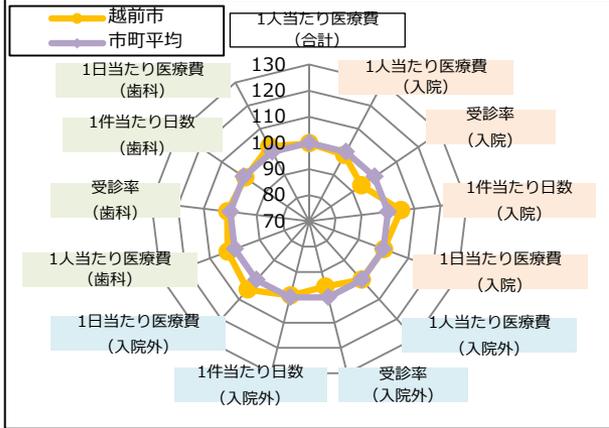
【大野市】



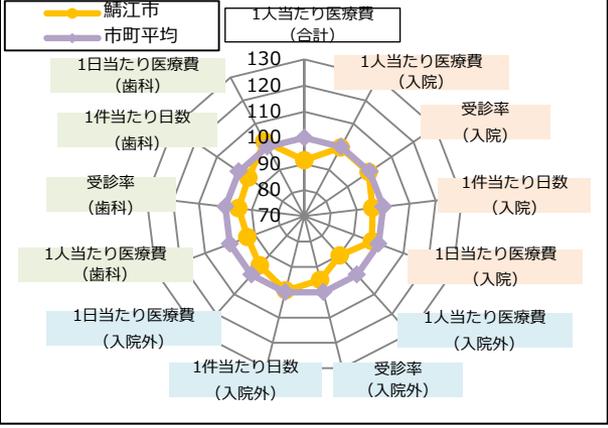
【勝山市】



【越前市】



【鯖江市】

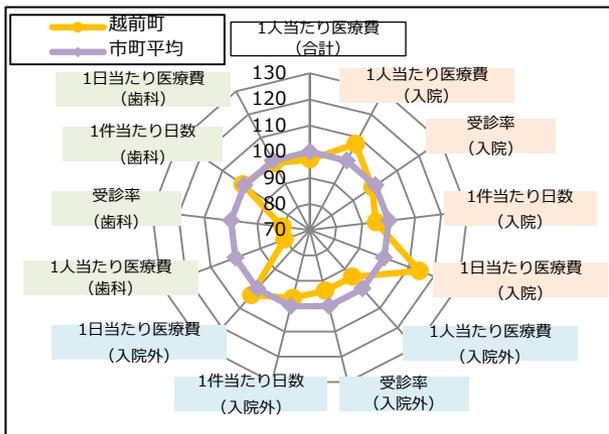


# 17-c 医療費比較レーダーチャート ～市町と市町平均の比較③～

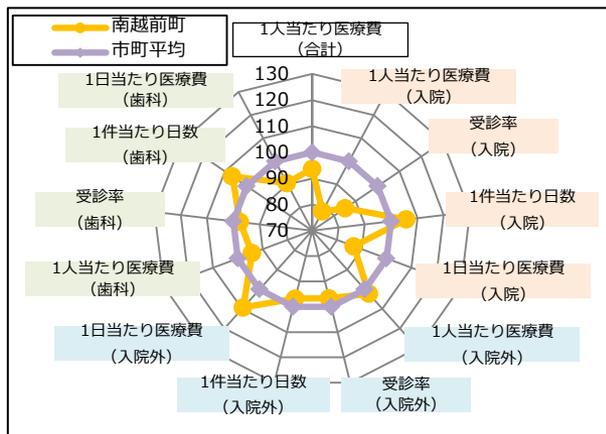
※池田町については数値が突出して大きい項目がある関係で、  
他市町とは数値軸の幅が異なる。

※グラフは、市町平均の各数値を100と設定

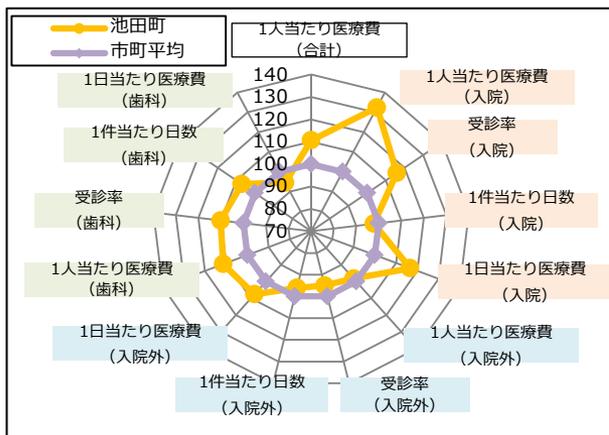
【越前町】



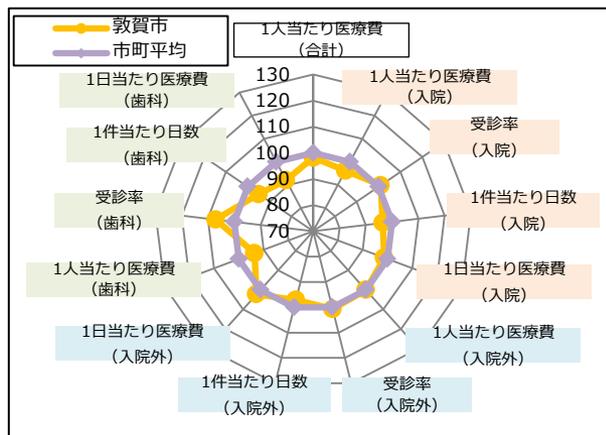
【南越前町】



【池田町】



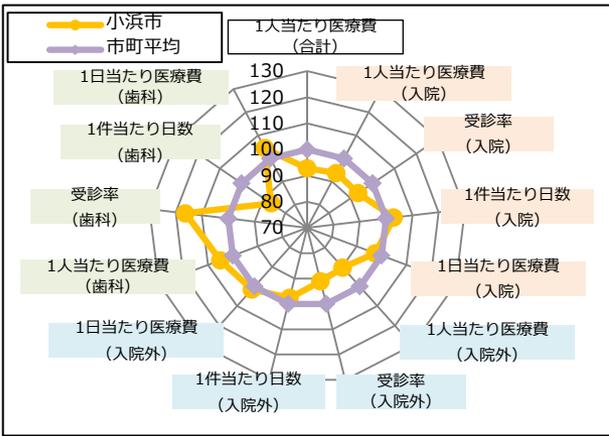
【敦賀市】



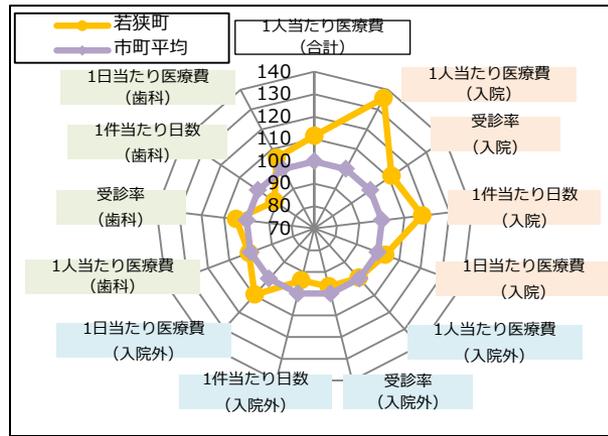
# 17-d 医療費比較レーダーチャート ～市町と市町平均の比較④～

※若狭町については数値が突出して大きい項目がある関係で、他市町とは数値軸の幅が異なる。  
 ※グラフは、市町平均の各数値を100と設定

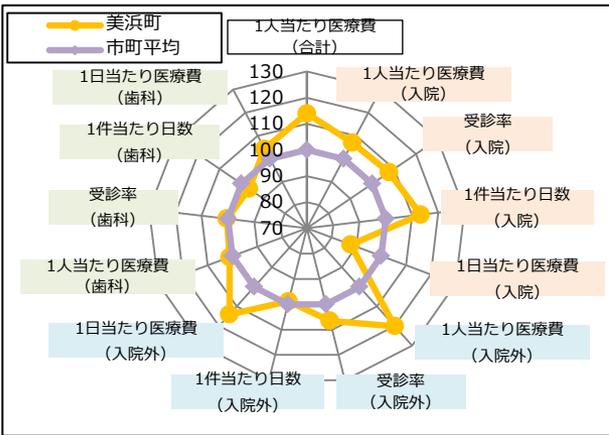
【小浜市】



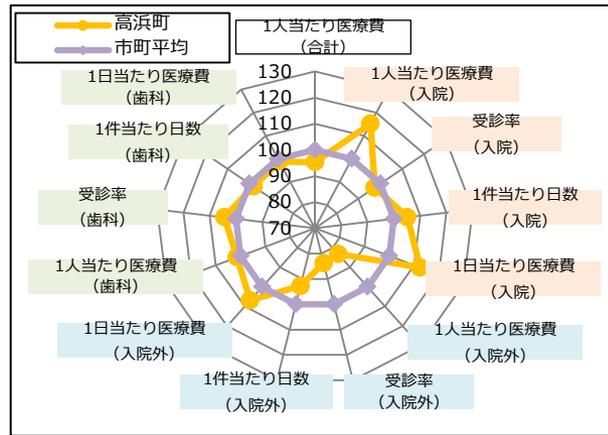
【若狭町】



【美浜町】



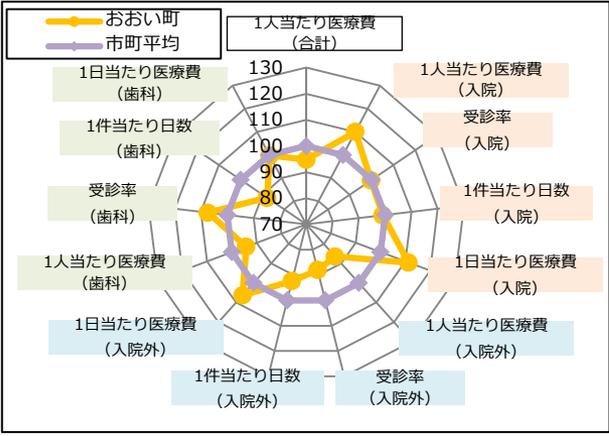
【高浜町】



17-e 医療費比較レーダーチャート ～市町と市町平均の比較⑤～

※グラフは、市町平均の各数値を100と設定

【おおい町】



## 16～17 市町別医療費の特徴等（まとめ）

16	<p>市町別でみた福井支部の1人当たり医療費については、【美浜町】が最も高く、【鯖江市】が最も低い結果となっています。なお、25年度においても美浜町は上位、鯖江市は下位の医療費でした。</p>
17	<p><b>【福井市】</b> 概ね平均と同程度ですが、入院外の「1人当たり医療費」、「受診率」、歯科の「1人当たり医療費」が比較的高くなっています。</p> <p><b>【坂井市】</b> 入院の「1人当たり医療費」が高くなっており、「1件当たり日数」の高さによるものと思われます。また、歯科の「1日当たり医療費」が高いですが、それ以外は平均と同程度、「受診率」については平均を下回っています。</p> <p><b>【あわら市】</b> 平均より高い項目が目立ち、特に入院外、歯科の「1人当たり医療費」が高くなっています。</p> <p><b>【永平寺町】</b> 歯科の「1人当たり医療費」が平均を下回っており、「受診率」の低さによるものと思われます。「1件当たり日数」については平均より高くなっています。</p> <p><b>【大野市】</b> 歯科の「1人当たり医療費」が突出して低くなっています。「受診率」の低さによるものと思われます。</p> <p><b>【勝山市】</b> 入院の各項目で平均より大幅に高い項目が目立ち、特に「受診率」が比較的高くなっています。歯科でも「受診率」が大幅に高くなっていますが、「1人当たり医療費」は平均を下回っています。</p> <p><b>【越前市】</b> 入院に関して、「受診率」が低い「1件当たり日数」は長いといった特徴があります。入院外においても「受診率」は平均より低くなっています。</p> <p><b>【鯖江市】</b> 各項目で平均より低い項目が目立ちます。なお、鯖江市は「1人当たり医療費（合計）」については全市町で最も低い金額となっています。</p>

## 16~17 市町別医療費の特徴等（まとめ）

### 【越前町】

歯科の「1人当たり医療費」が極端に低くなっています。「受診率」の低さによるものと思われます。入院外についても「1人当たり医療費」、「受診率」が平均を下回っています。

### 【南越前町】

入院の「1人当たり医療費」が極めて低くなっています。「受診率」の低さが影響していると思われます。ただし、「1件当たり日数」は平均より高くなっています。

### 【池田町】

入院の「1人当たり医療費」が突出して高くなっており、「受診率」の高さが影響していると思われます。歯科についても平均を上回っている項目が目立ちます。

### 【敦賀市】

歯科の「受診率」が高くなっていますが、それ以外は平均並み、またはやや低くなっています。

17

### 【小浜市】

歯科の「受診率」が突出して高くなっていますが、「1件当たり日数」は平均より大幅に低くなっています。入院、入院外については「1人当たり医療費」、「受診率」が平均を下回っています。

### 【若狭町】

入院の「1人当たり医療費」が突出して高くなっています。「受診率」と「1件当たり日数」の高さによるものと思われます。

### 【美浜町】

入院の各項目で平均より高くなっています。入院外では「1人当たり医療費」が極めて高くなっています。なお、美浜町は「1人当たり医療費（合計）」については全市町で最も高い金額となっています。

### 【高浜町】

入院の「1人当たり医療費」が高く、反対に入院外の「1人当たり医療費」、「受診率」が極めて低くなっています。

### 【おおい町】

入院の「1人当たり医療費」が高くなっています。反対に入院外の「1人当たり医療費」、「受診率」は平均より低くなっています。

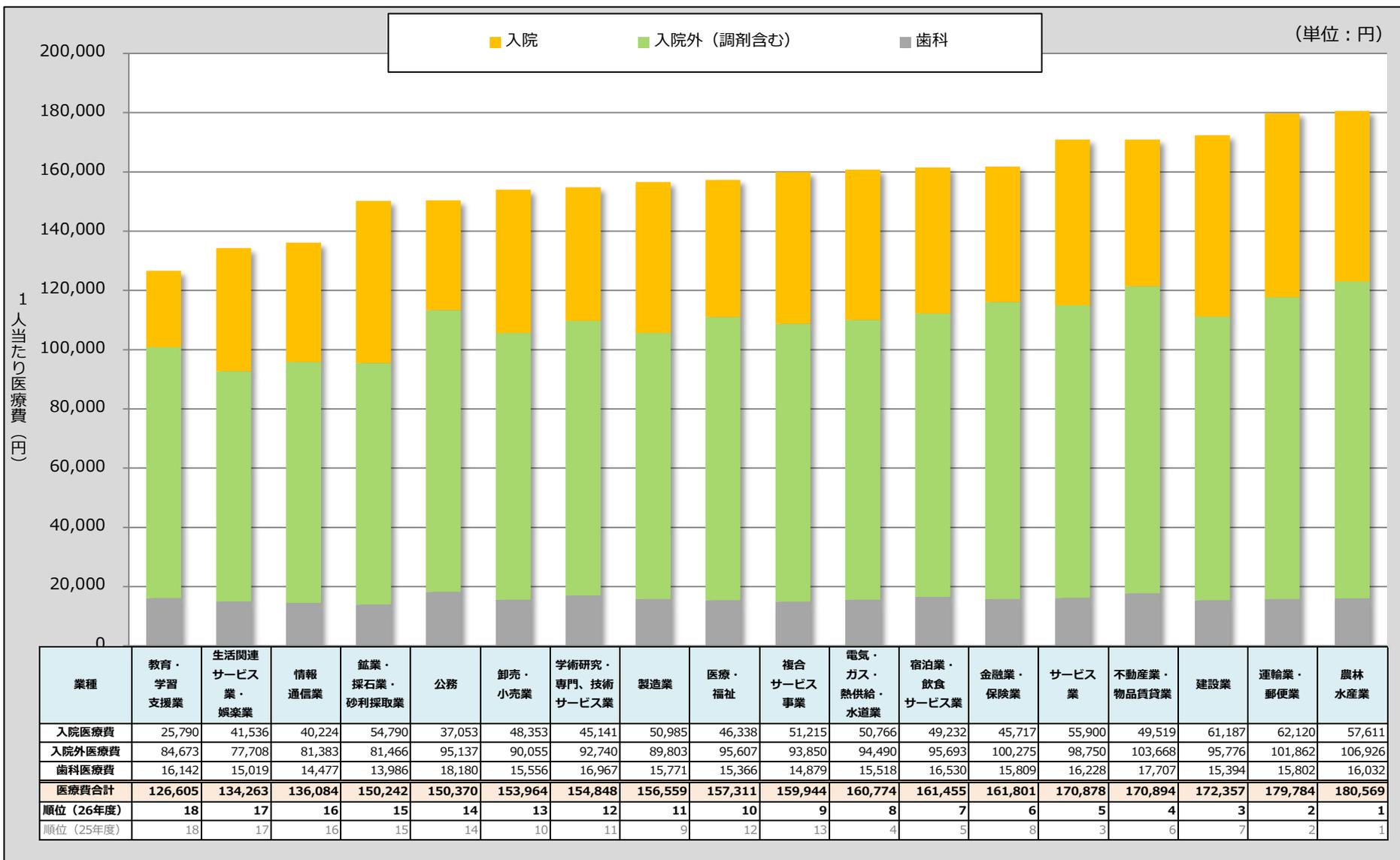
## IV. 業態別にみた医療費について

データ：協会けんぽ業態別医療費基本情報（平成26年度）

※任意継続加入者は除く

※医療費は社会保険診療報酬支払基金審査分（入院、入院外、歯科、調剤、入院時食事療養費・生活療養費、訪問看護療養費）、療養費（柔道整復療養費等）、移送費にかかるものであり、「その他」は入院、入院外、歯科、調剤以外の医療費を指す。

# 18 業態別 1人当たり医療費

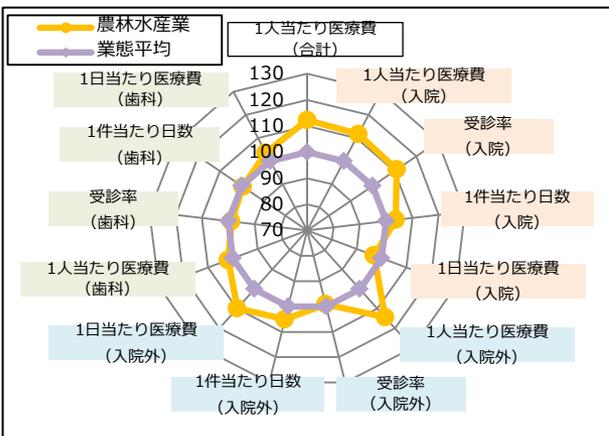


# 19-a 医療費比較レーダーチャート ～業態と業態平均の比較①～

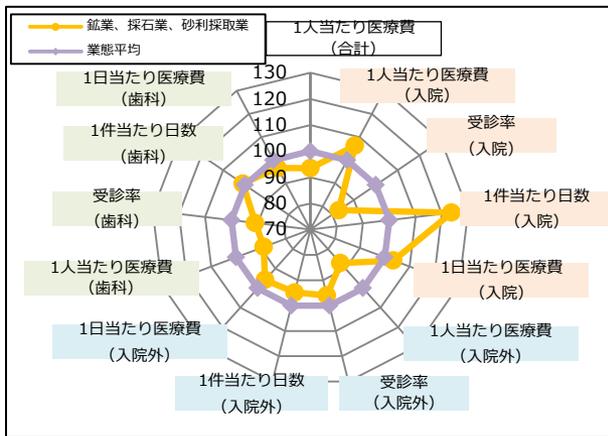
※グラフは、業態平均の各数値を100と設定

医療費を構成する「三要素」と「1人当たり医療費」について、【業態ごと】に【業態平均】と比較しています。

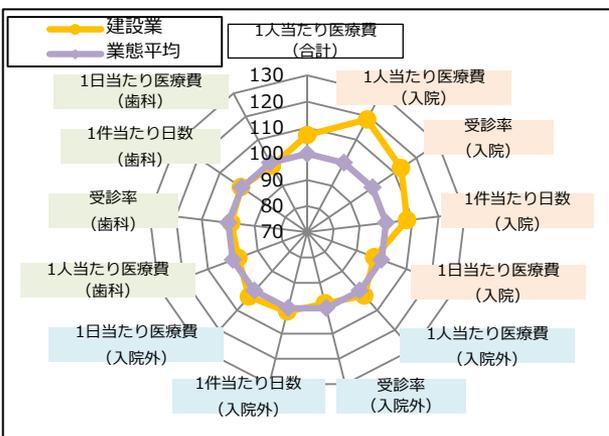
## 【農林水産業】



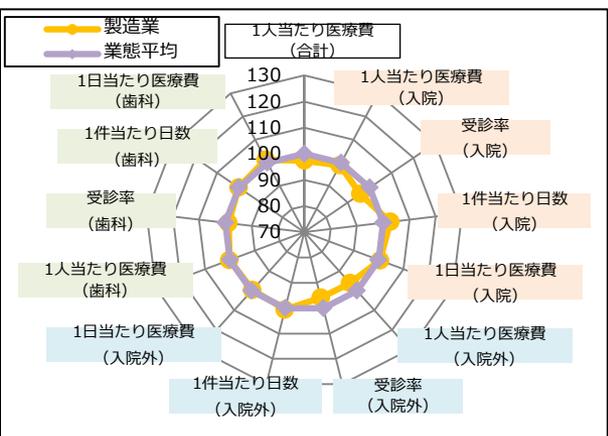
## 【鉱業、採石業、砂利採取業】



## 【建設業】



## 【製造業】

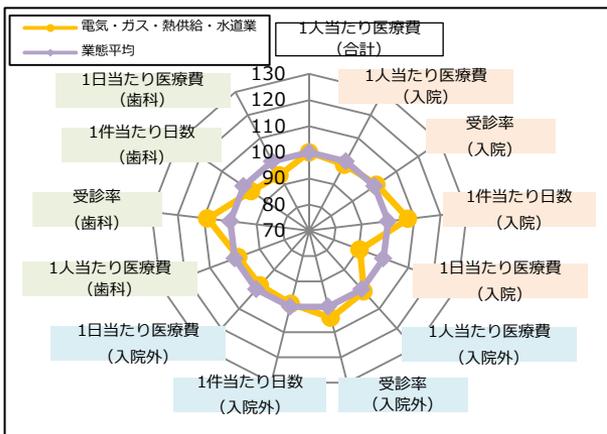


# 19-b 医療費比較レーダーチャート

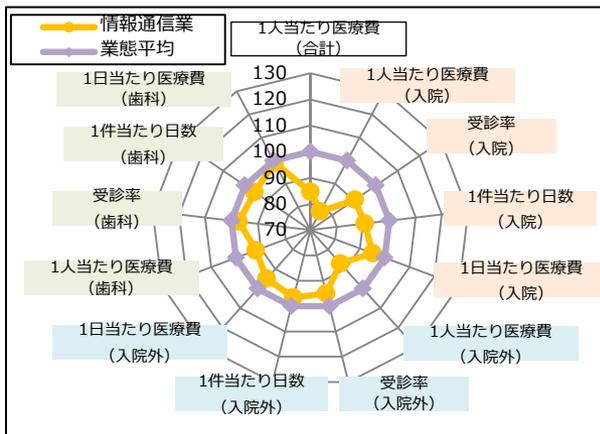
## ～業態と業態平均の比較②～

※グラフは、業態平均の各数値を100と設定

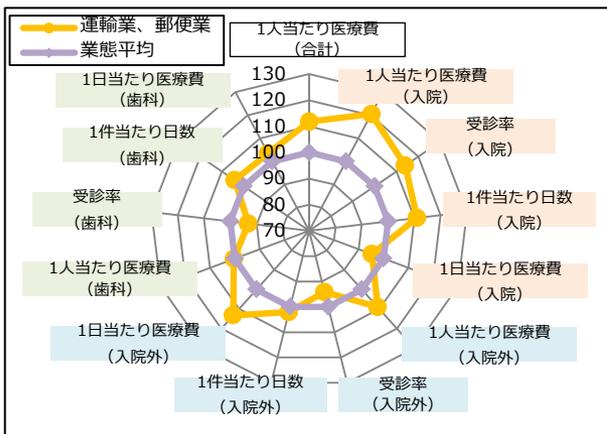
### 【電気・ガス・熱供給・水道業】



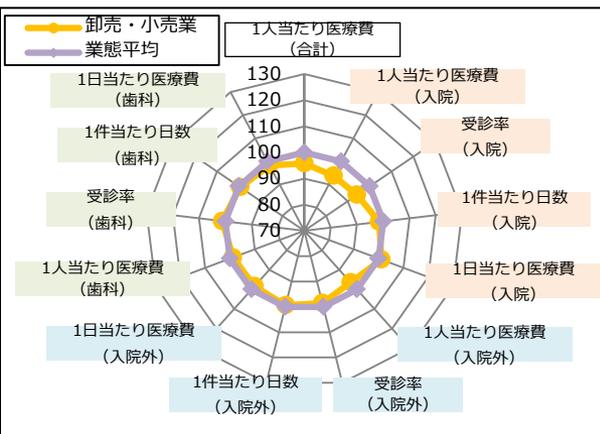
### 【情報通信業】



### 【運輸業、郵便業】



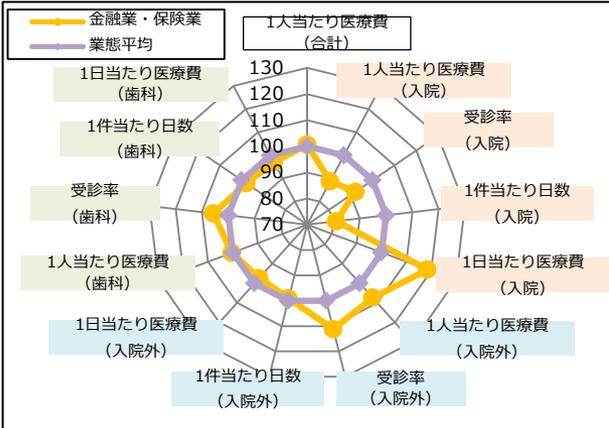
### 【卸売・小売業】



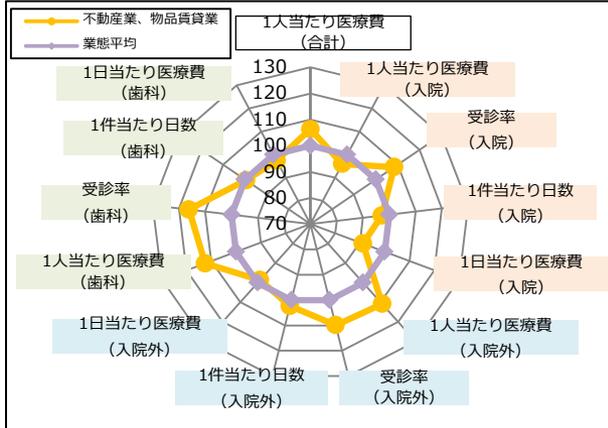
# 19-c 医療費比較レーダーチャート ～業態と業態平均の比較③～

※グラフは、業態平均の各数値を100と設定

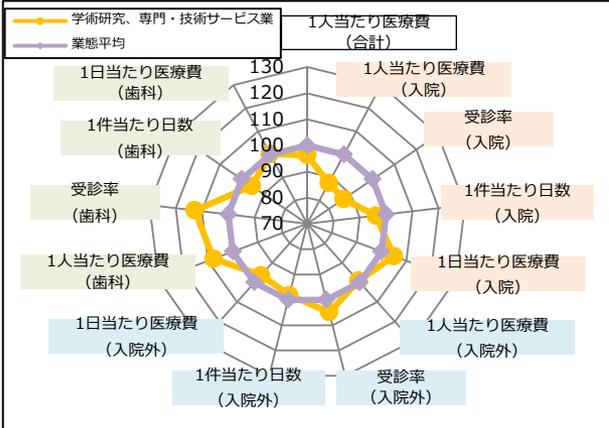
## 【金融業・保険業】



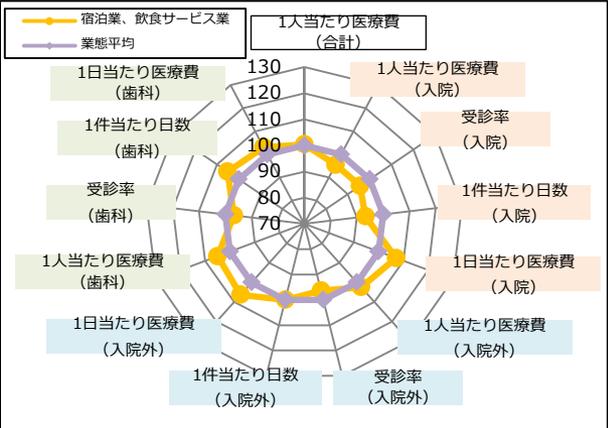
## 【不動産業、物品賃貸業】



## 【学術研究、専門・技術サービス業】



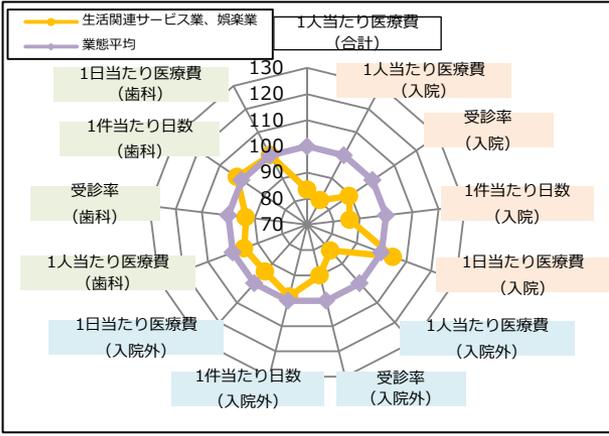
## 【宿泊業、飲食サービス業】



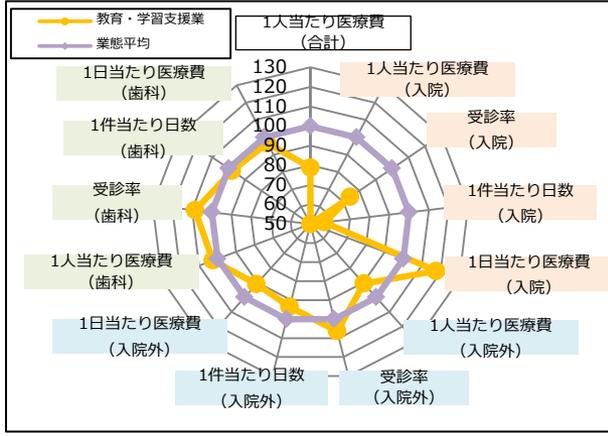
# 19-d 医療費比較レーダーチャート ～業態と業態平均の比較④～

※教育・学習支援業については数値が突出して小さい項目がある  
 関係で、他市町とは数値軸の幅が異なる。  
 ※グラフは、業態平均の各数値を100と設定

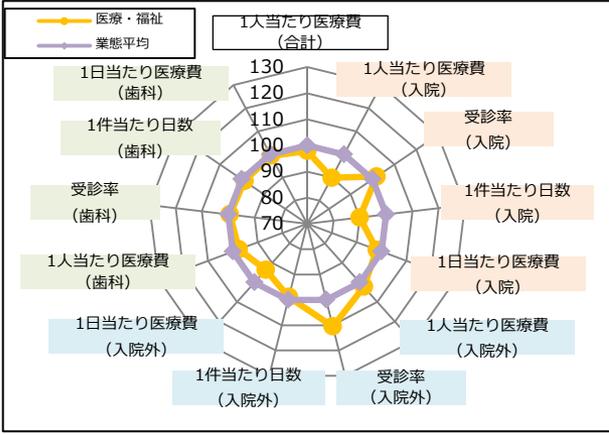
## 【生活関連サービス業、娯楽業】



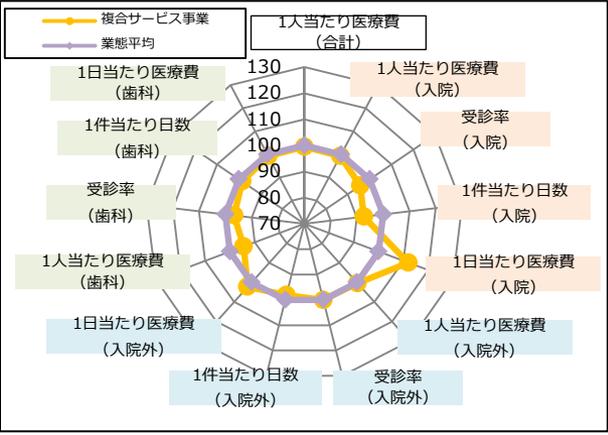
## 【教育・学習支援業】



## 【医療・福祉】



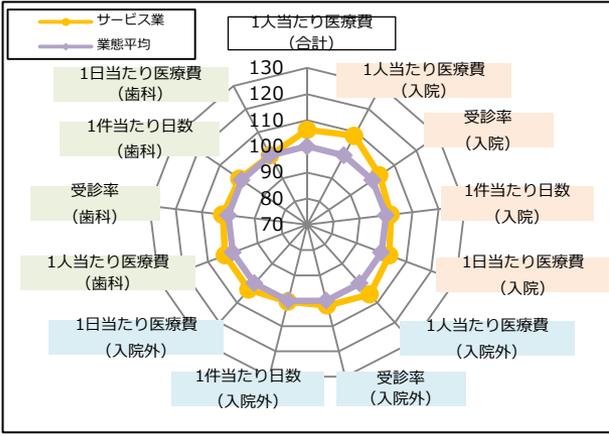
## 【複合サービス事業】



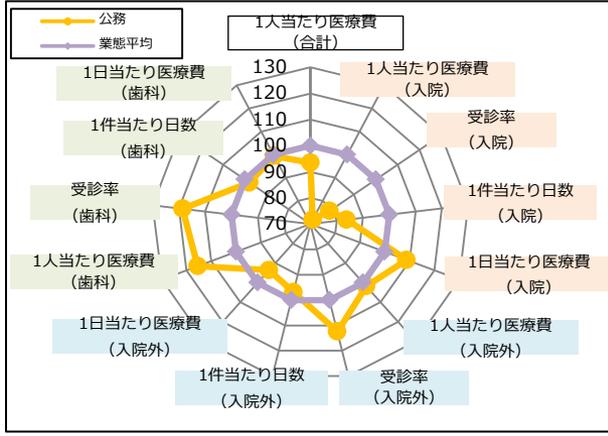
# 19-e 医療費比較レーダーチャート ～業態と業態平均の比較⑤～

※グラフは、業態平均の各数値を100と設定

【サービス業】



【公務】



## 18～19 業態別医療費の特徴等（まとめ）

18	<p>業態別でみた福井支部の1人当たり医療費については、<b>【農林水産業】が最も高く、【教育、学習支援業】が最も低い</b>結果となっています。農林水産業は平成25年度においても最も高く、教育、学習支援業は、平成25年度においても最も低い医療費でした。</p>
19	<p><b>【農林水産業】</b> 入院で平均より高い項目が目立ちます。入院外では「1人当たり医療費」が高くなっています。なお、「1人当たり医療費（合計）」については全業態で最も高い数値となっています。</p> <p><b>【鉱業、採石業、砂利採取業】</b> 入院の「受診率」が平均を大きく下回っていますが、「1件当たり日数」が突出して大きいため「1人当たり医療費」は平均より高くなっています。入院外と歯科は平均より低い項目が目立ちます。</p> <p><b>【建設業】</b> 入院の「1人当たり医療費」が高くなっています。「受診率」、「1件当たり日数」の高さによるものと思われます。入院外、歯科については平均と同程度となっています。</p> <p><b>【製造業】</b> 概ね平均と同程度です。入院外の「1人当たり医療費」、「受診率」が若干低めです。</p> <p><b>【電気・ガス・熱供給・水道業】</b> 歯科の「受診率」が平均より高くなっていますが、「1人当たり医療費」、「1件当たり日数」は平均を下回っています。</p> <p><b>【情報通信業】</b> 全ての項目で平均を下回っており、特に入院と入院外の「1人当たり医療費」が極めて低くなっています。</p> <p><b>【運輸業、郵便業】</b> 入院の「1人当たり医療費」が高くなっています。「受診率」、「1件当たり日数」の高さによるものと思われます。</p> <p><b>【卸売・小売業】</b> 概ね平均と同程度となっています。入院の「1人当たり医療費」、「受診率」が若干低めとなっています。</p>

## 18~19 業態別医療費の特徴等（まとめ）

### 【金融業・保険業】

入院外の「1人当たり医療費」が比較的高くなっています。「受診率」の高さが影響していると思われます。入院については平均を下回る項目が目立ちます。

### 【不動産業、物品賃貸業】

入院外、歯科の「1人当たり医療費」が平均より高く、それぞれ、「受診率」の高さが影響していると思われます。入院も「受診率」は高くなっていますが、「1人当たり医療費」は平均を下回っています。

### 【学術研究、専門・技術サービス業】

歯科の「1人当たり医療費」が高く、「受診率」の高さによるものと思われます。反対に入院の同項目が平均より低くなっています。

### 【宿泊業、飲食サービス業】

歯科の「1人当たり医療費」が平均より高くなっており、「1件当たり日数」の高さが影響していると思われます。入院については平均を下回る項目が目立ちます。

### 【生活関連サービス業、娯楽業】

19 平均を下回っている項目が目立ち、特に入院にかかる各項目で比較的大きく下回っています。

### 【教育・学習支援業】

入院の「1人当たり医療費」が極めて低くなっており、「受診率」、「1件当たり日数」の低さによるものと思われます。なお、「1人当たり医療費（合計）」については全業態で最も低い数値となっています。

### 【医療・福祉】

入院の「受診率」は平均より高めですが、「1人当たり医療費」、「1件当たり日数」は平均より低くなっています。

### 【複合サービス事業】

概ね平均と同程度です。入院の「1日当たり医療費」が突出して高くなっていますが、「1件当たり日数」の低さが要因と思われます。

### 【サービス業】

各項目で平均を若干上回っており、その中でも入院、入院外の「1人当たり医療費」が比較的大きく平均を上回っています。

### 【公務】

入院の各項目で平均を大きく下回っています。歯科については「1人当たり医療費」、「受診率」が極めて高くなっています。

## V. 健診について

データ：協会けんぽ事業年報（特定健康診査・特定保健指導）（平成24～26年度）  
生活習慣病予防健診、特定健診、事業者健診受診者リスト（平成26年度）  
事業所情報リスト（平成27年3月）

※各種健診実施率については40～74歳の加入者を集計対象としている。

※市町別健診実施率の集計について、郵便番号が不明により集計できない対象者等は除外している。

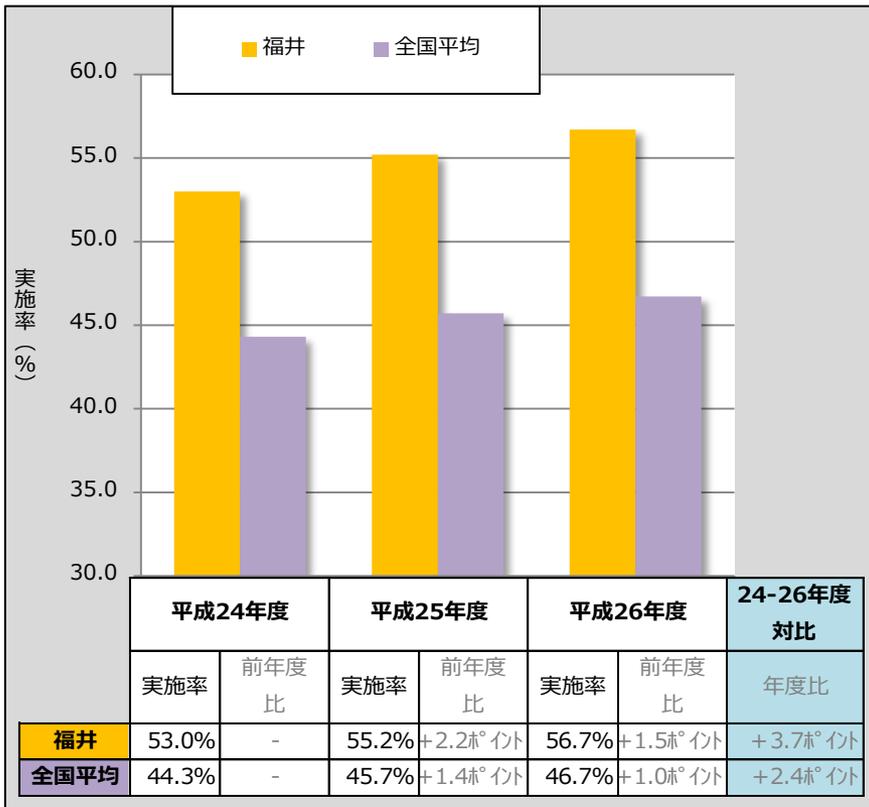
※市町・業態別健診実施率、事業者健診データ取得率の集計については、「平成26年度に1年間継続加入した加入者」を集計対象としている。

※事業者健診データ取得率の集計について、市町別に集計するための郵便番号情報は「住所」ではなく「勤務先事業所所在地」になっている場合がある。

# 20 健診の実施状況

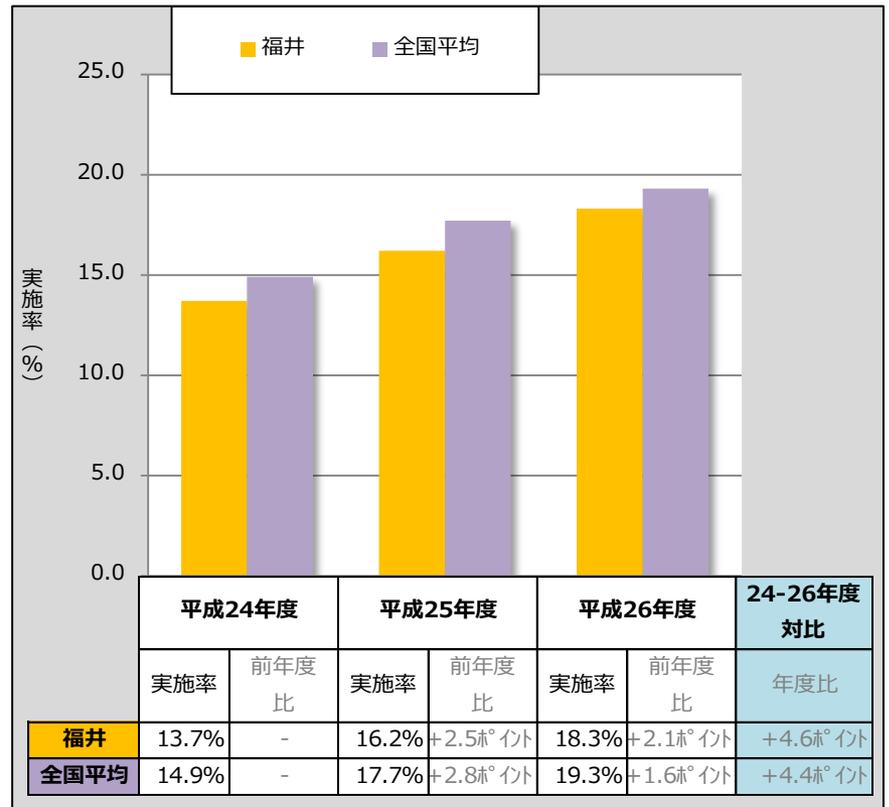
## 生活習慣病予防健診（※1） 実施率

※1…生活習慣病予防健診＝35～74歳の被保険者が対象の健診



## 特定健診（※2） 実施率

※2…特定健診＝40～74歳の被扶養者が対象の健診



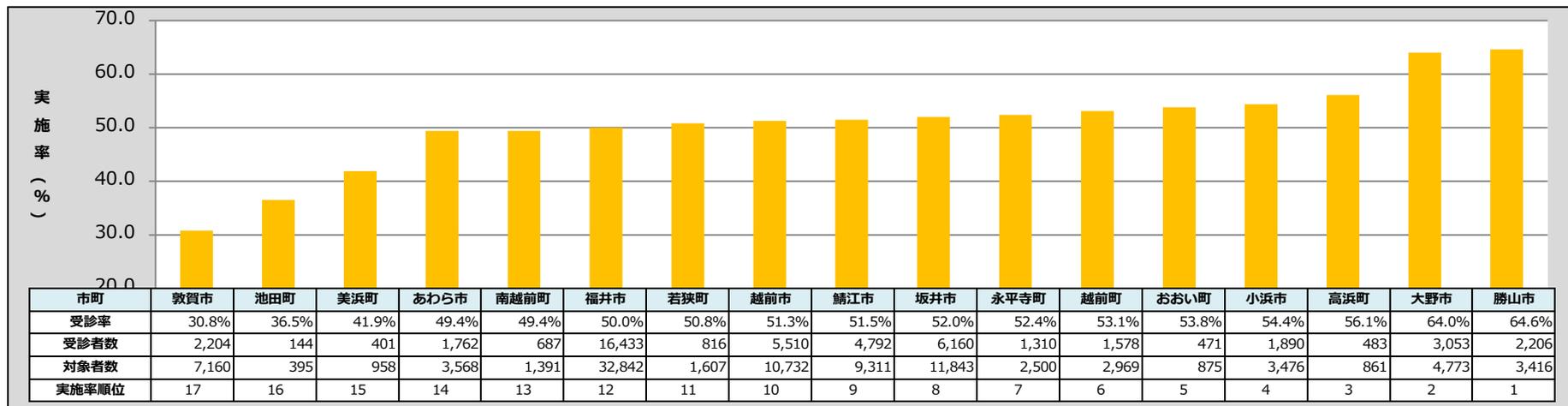
（参考）平成26年度 健診実施状況（生活習慣病予防健診の受診者、対象者数については、40～74歳の被保険者数を計上）

	生活習慣病予防健診			特定健診		
	対象者数（人）	受診者数（人）	実施率（%）	対象者数（人）	受診者数（人）	実施率（%）
<b>福井</b>	105,689	59,893	56.7%	28,992	5,307	18.3%
<b>全国</b>	12,634,937	5,904,639	46.7%	4,231,660	815,221	19.3%

健診実施率を様々な角度で  
分析します

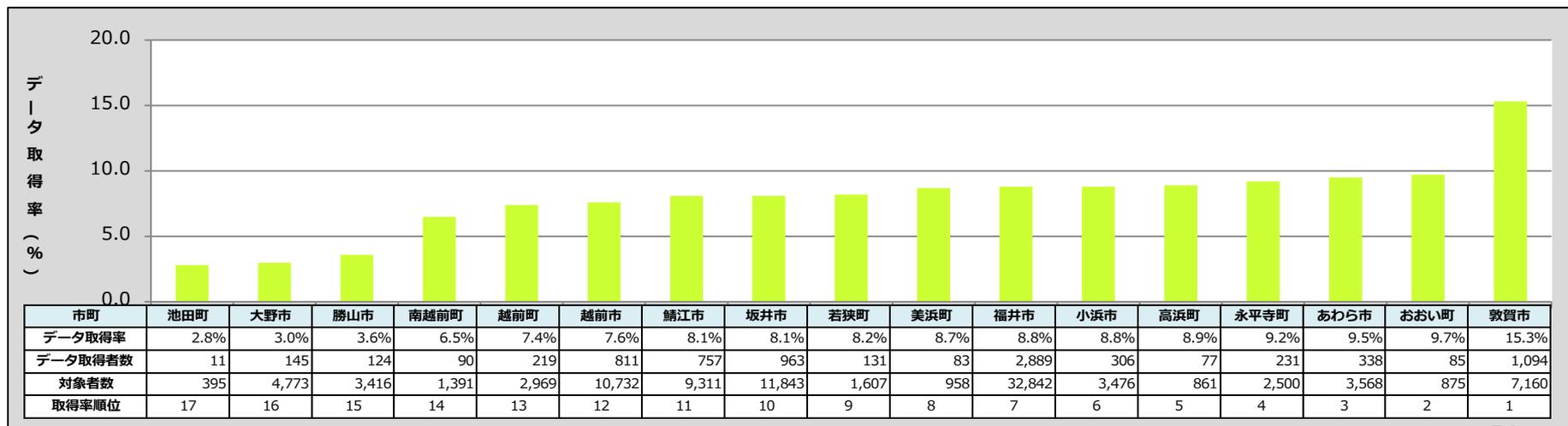
## 21 市町別 生活習慣病予防健診実施率

※生活習慣病予防健診対象者は35～74歳の被保険者だが、  
ここでは『40～74歳』の被保険者データを集計。

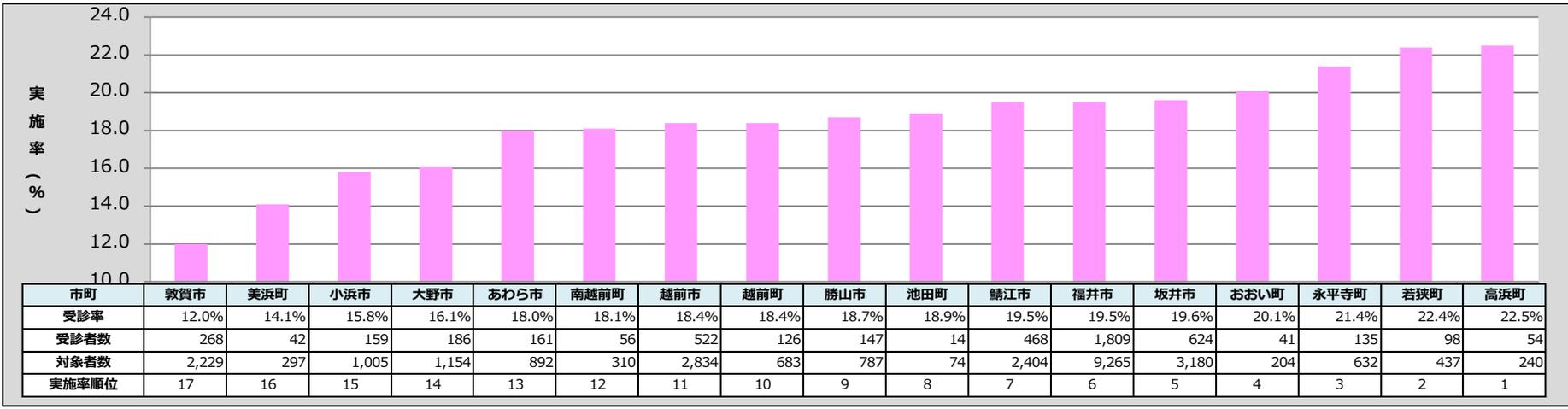


## 22 市町別 事業者健診データ取得率

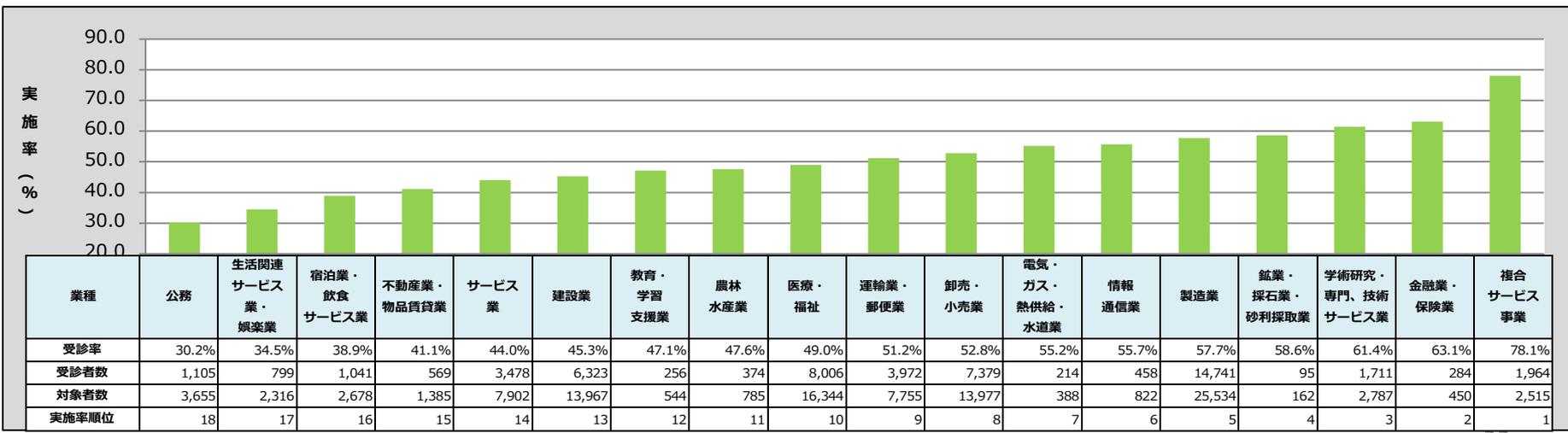
※事業者健診…労働安全衛生法に基づいて事業主が実施する定期健診。  
※データ…事業主から提供があった『40～74歳』の被保険者の事業者健診結果



## 23 市町別 特定健診実施率



## 24 業態別 生活習慣病予防健診実施率



## 20～24 健診受診率の特徴等（まとめ）

20	<p><b>【生活習慣病予防健診】</b>          例年、福井支部の実施率が全国平均を大きく上回っており、伸び率についても上回っています。          ※35～74歳の被保険者が対象の健診ですが、ここでは「40～74歳の被保険者」を集計対象としています。</p> <p><b>【特定健診】</b>          生活習慣病予防健診とは反対に、例年、全国平均の実施率が福井支部を上回っています。          なお、前年度比伸び率は福井支部が全国平均を上回っています。（26年度）</p>
21	<p>生活習慣病予防健診実施状況を市町別に集計しています。  <b>勝山市、大野市の【奥越地区】で高い実施率</b>となっており、<b>敦賀市が最も低い実施率</b>となっています。          敦賀市は原発関連の業務に従事する方が多く、専門の健診を受診する割合が高いため例年実施率が低い傾向にあります。</p>
22	<p>事業者健診結果データについて市町別で集計しています。          生活習慣病予防健診とは反対に<b>敦賀市が最も高いデータ取得率</b>で、<b>大野市、勝山市は低いデータ取得率</b>となっています。</p>
23	<p>特定健診実施状況を市町別に集計しています。  <b>高浜町、若狭町の【嶺南地区】で高い受診率</b>となっており、生活習慣病予防健診同様、<b>敦賀市が最も低い受診率</b>となっています。</p>
24	<p>生活習慣病予防健診の実施状況について業態別で集計しています。  <b>複合サービス事業が最も高い実施率</b>で、<b>公務が最も低い実施率</b>となっております。          なお、25年度においても上記業種で同順位となっていました。</p>

## VI. 健診リスク保有率に関するデータについて

データ：全国健康保険協会【都道府県医療費等の基礎データ】（平成26年度）  
健診受診者リスト（平成26年度）  
郵便番号データ

## (参考) 健診におけるリスク保有の有無を判断するための基準

### ★リスク保有の検査基準

代謝	空腹時血糖…110mg/dl以上
腹囲	男性…85cm以上 女性…90cm以上
血圧	収縮期血圧…130mmHg以上 または 拡張期血圧…85mmHg以上
脂質	中性脂肪…150mg/dl以上 または HDLコレステロール…40mg/dl未満

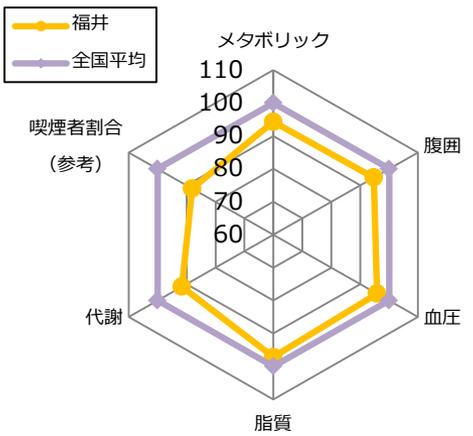
### ★メタボリックシンドロームの判断基準

腹囲	男性…85cm以上 女性…90cm以上
上記に加え、以下のうち2項目以上に該当	
代謝	空腹時血糖…110mg/dl以上
血圧	収縮期血圧…130mmHg以上 または 拡張期血圧…85mmHg以上
脂質	中性脂肪…150mg/dl以上 または HDLコレステロール…40mg/dl未満

上記のリスク保有基準を踏まえ、次ページから  
各項目のリスク保有率について分析します

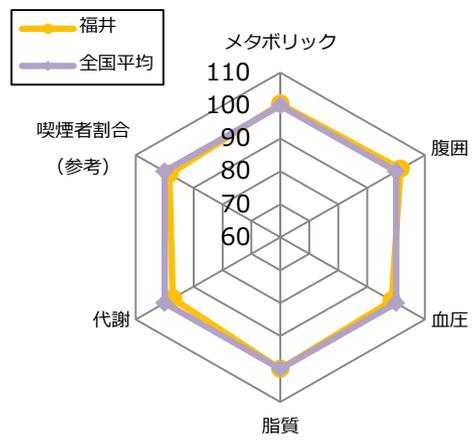
# 25 健診におけるリスク保有率

①リスク別でみた福井支部と全国平均の比較【支部全体】



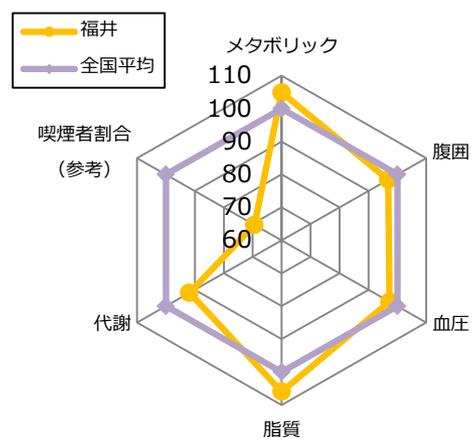
	福井	全国平均	全国平均との比較
メタボリックシンドロームのリスク保有率	13.2%	14.0%	-0.8ポイント
腹囲のリスク保有率	32.5%	34.3%	-1.8ポイント
血圧のリスク保有率	39.1%	40.8%	-1.7ポイント
脂質のリスク保有率	27.3%	28.1%	-0.8ポイント
代謝のリスク保有率	13.1%	14.3%	-1.2ポイント
喫煙者の割合 (参考)	30.3%	34.4%	-4.1ポイント

②リスク別でみた福井支部と全国平均の比較【男性】



	福井	全国平均	全国平均との比較
メタボリックシンドロームのリスク保有率	19.3%	19.2%	+0.1ポイント
腹囲のリスク保有率	46.4%	45.7%	+0.7ポイント
血圧のリスク保有率	46.2%	46.9%	-0.7ポイント
脂質のリスク保有率	35.0%	35.0%	±0ポイント
代謝のリスク保有率	17.4%	17.9%	-0.5ポイント
喫煙者の割合 (参考)	42.9%	43.6%	-0.7ポイント

③リスク別でみた福井支部と全国平均の比較【女性】

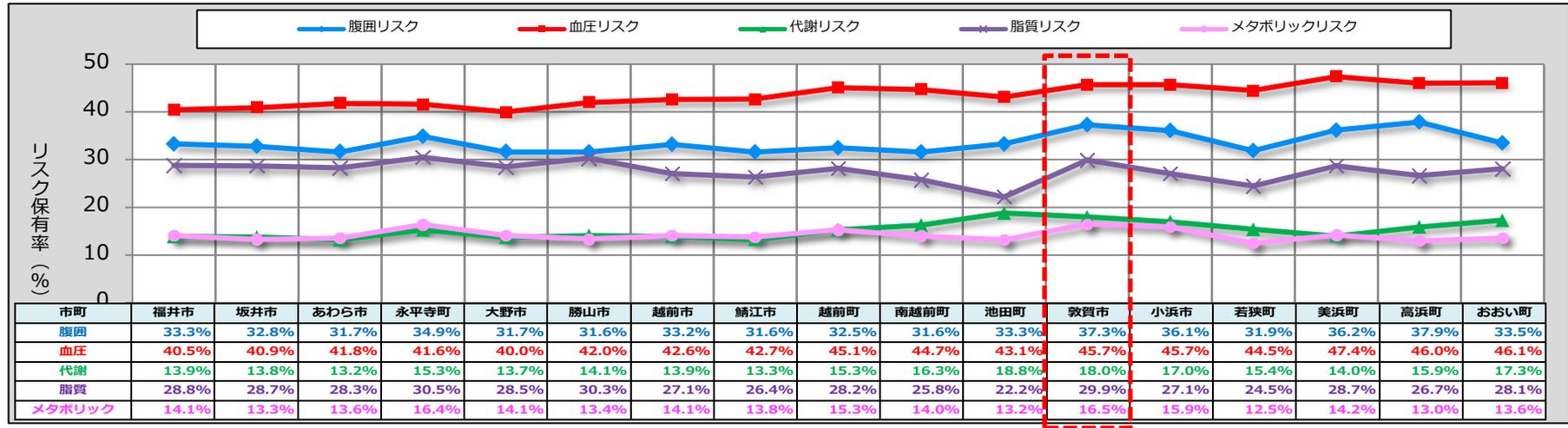


	福井	全国平均	全国平均との比較
メタボリックシンドロームのリスク保有率	4.3%	4.1%	+0.2ポイント
腹囲のリスク保有率	12.3%	12.7%	-0.4ポイント
血圧のリスク保有率	28.6%	29.4%	-0.8ポイント
脂質のリスク保有率	16.0%	15.1%	+0.9ポイント
代謝のリスク保有率	6.8%	7.4%	-0.6ポイント
喫煙者の割合 (参考)	11.8%	17.0%	-5.2ポイント

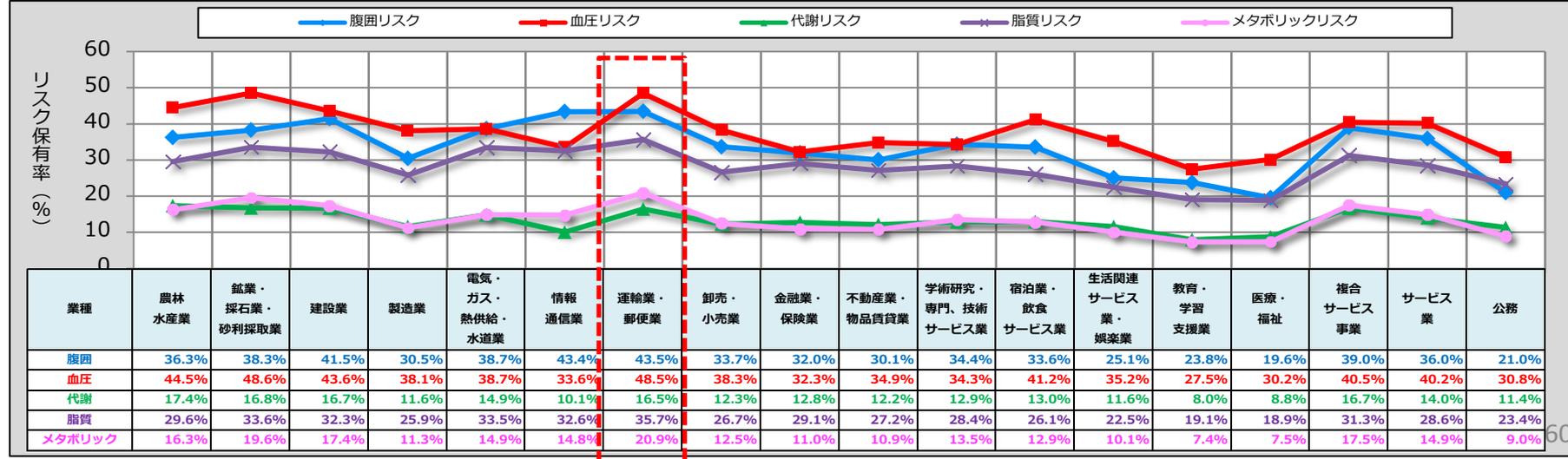
※グラフは、全国平均の各数値を100と設定

## 26 市町別 生活習慣病予防健診 リスク保有率

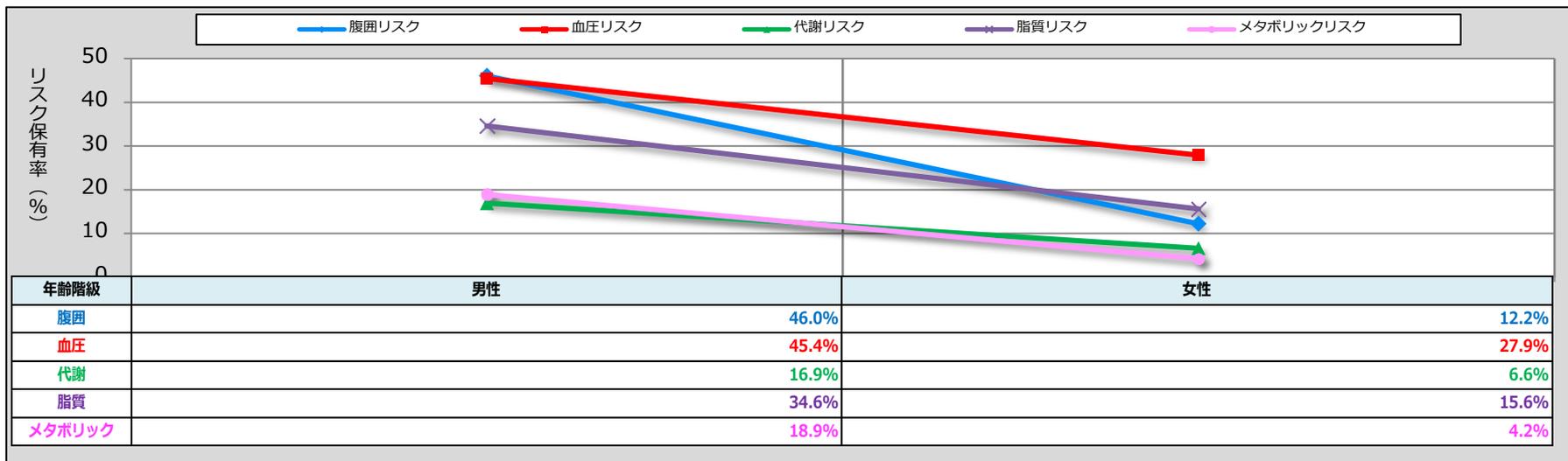
※生活習慣病予防健診対象者は35～74歳の被保険者だが、ここでは『40～74歳』の被保険者データを集計。  
 ※郵便番号が不明により集計できない対象者等は除外している。



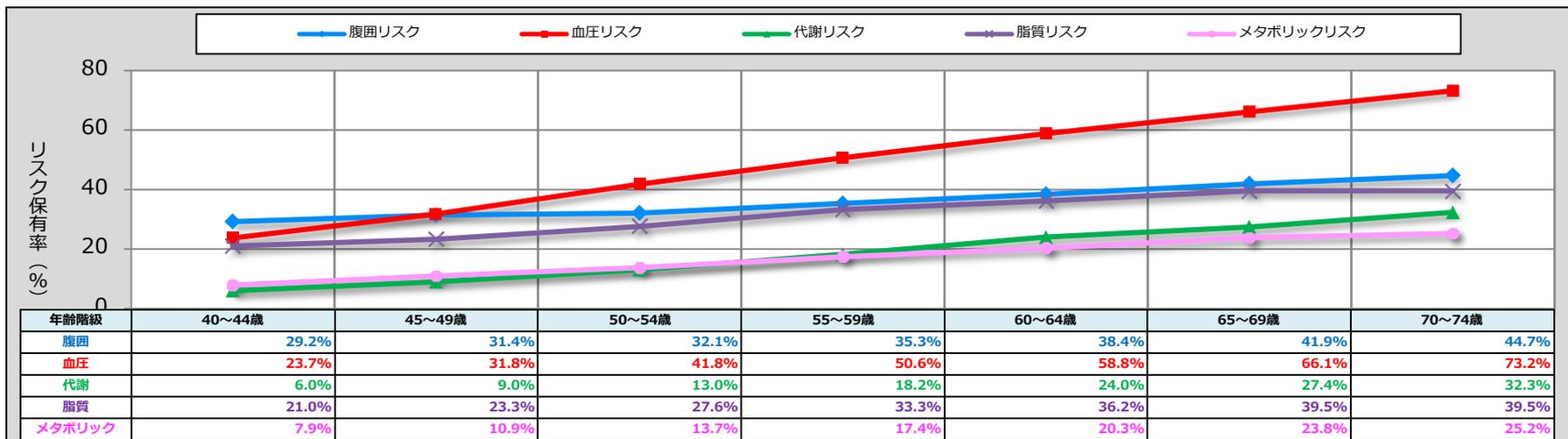
## 27 業態別 生活習慣病予防健診 リスク保有率



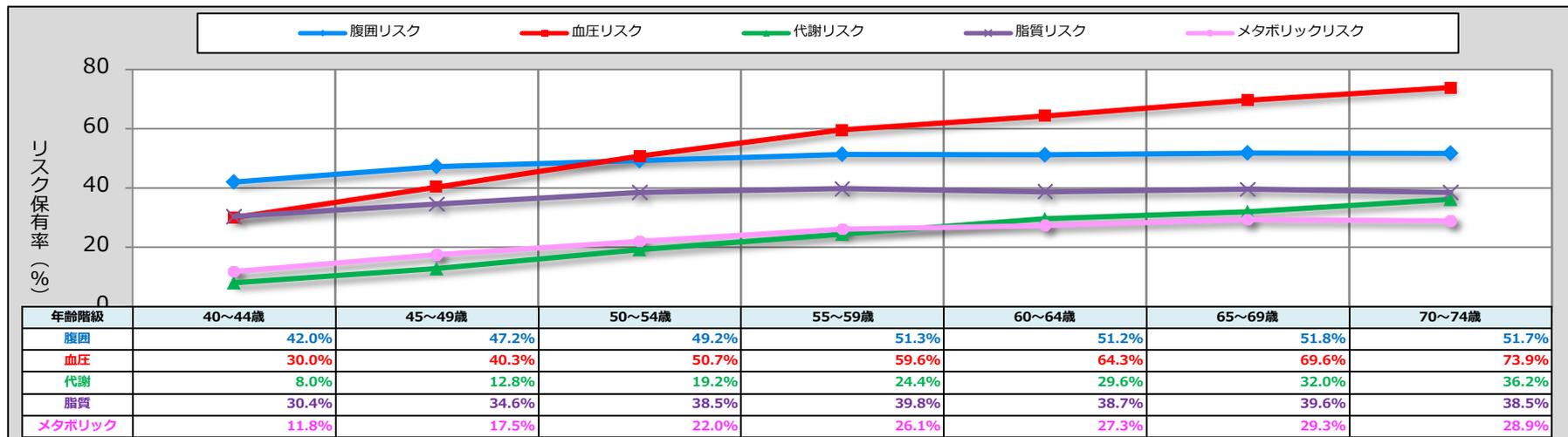
## 28 性別 生活習慣病予防健診 リスク保有率



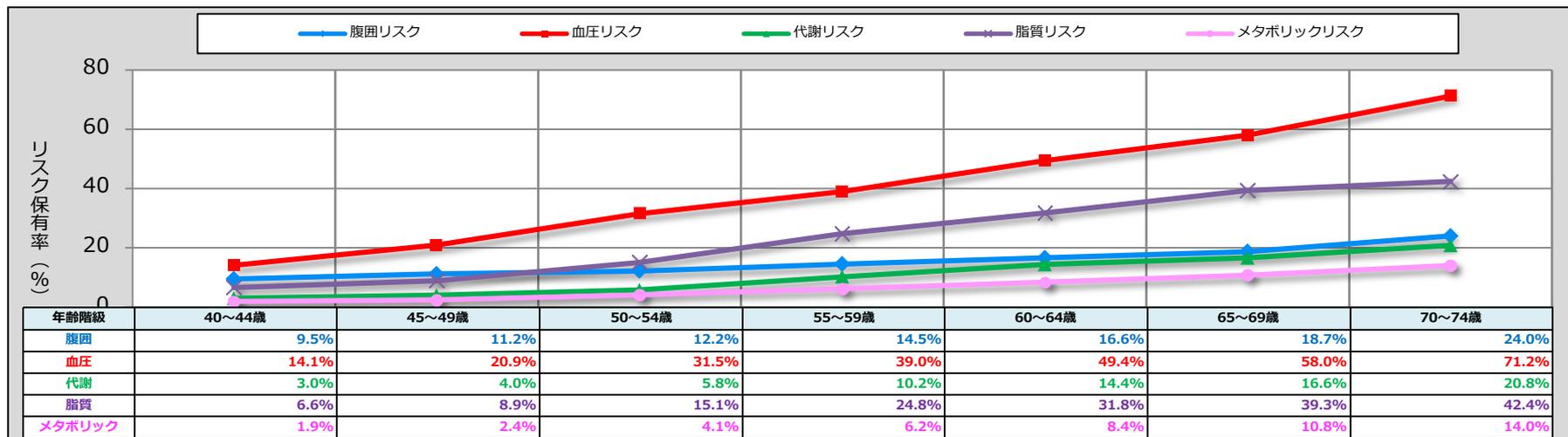
## 29 年齢階級別 生活習慣病予防健診 リスク保有率



### 30 性・年齢階級別 生活習慣病予防健診 リスク保有率【男性】



### 31 性・年齢階級別 生活習慣病予防健診 リスク保有率【女性】



## 25～31 健診リスク保有率の特徴等（まとめ）

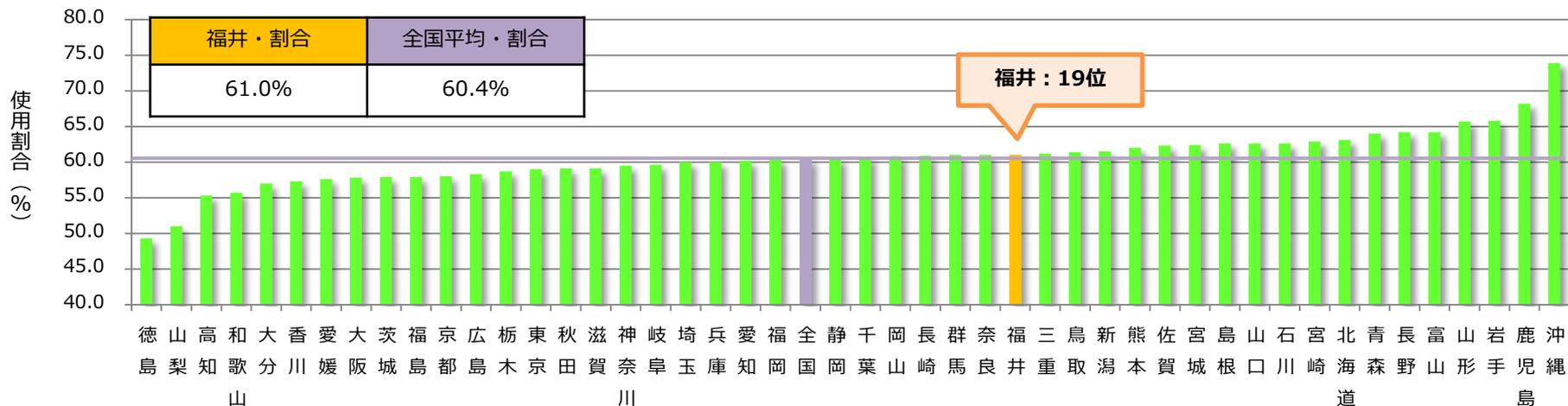
25	<p><b>【全体】</b> 全ての項目で全国平均を下回っており、特に【代謝リスク保有率】、【喫煙者割合】で比較的大きく下回っています。</p> <p><b>【男性】</b> 全国平均とほぼ同程度となっています。【メタボリック】、【腹囲】のリスクで若干全国平均より高くなっています。</p> <p><b>【女性】</b> 【メタボリック】、【脂質】リスクで全国平均より若干高くなっています。なお、【喫煙者割合】は極めて低い割合となっており、全国で3番目に低いものとなっています。</p>
26	<p>健診リスク（腹囲、血圧、代謝、脂質、メタボリック）保有率を『<u>市町別</u>』で集計しています。 各項目において<b>敦賀市、美浜町</b>などが比較的高いリスク保有率となっています。</p>
27	<p>健診リスク（腹囲、血圧、代謝、脂質、メタボリック）保有率を『<u>業態別</u>』で集計しています。 各項目において<b>運輸業・郵便業</b>などで比較的高いリスク保有率となっています。</p>
28	<p>健診リスク（腹囲、血圧、代謝、脂質、メタボリック）保有率を『<u>性別</u>』で集計しています。 各項目において<b>男性</b>の方が高いリスク保有率で、特に腹囲において大きな差があります。</p>
29	<p>健診リスク（腹囲、血圧、代謝、脂質、メタボリック）保有率を『<u>年齢階級別</u>』で集計しています。 年齢が高くなるにつれ高いリスク保有率となり、特に<b>血圧</b>において大きな伸びとなっています。</p>
30	<p>健診リスク（腹囲、血圧、代謝、脂質、メタボリック）保有率を『<u>男性・年齢階級別</u>』で集計しています。 <b>代謝</b>と<b>メタボリック</b>で女性よりも大きな伸びとなっています。 男性の特徴として、「55～59歳」階級を境に伸びが鈍化または減少する傾向があります。</p>
31	<p>健診リスク（腹囲、血圧、代謝、脂質、メタボリック）保有率を『<u>女性・年齢階級別</u>』で集計しています。 <b>血圧</b>と<b>脂質</b>で男性よりも大きな伸びとなっています。 女性の特徴として、「55～59歳」階級を境に伸びが上昇する傾向があります。</p>

## VII. ジェネリック医薬品使用割合等データについて

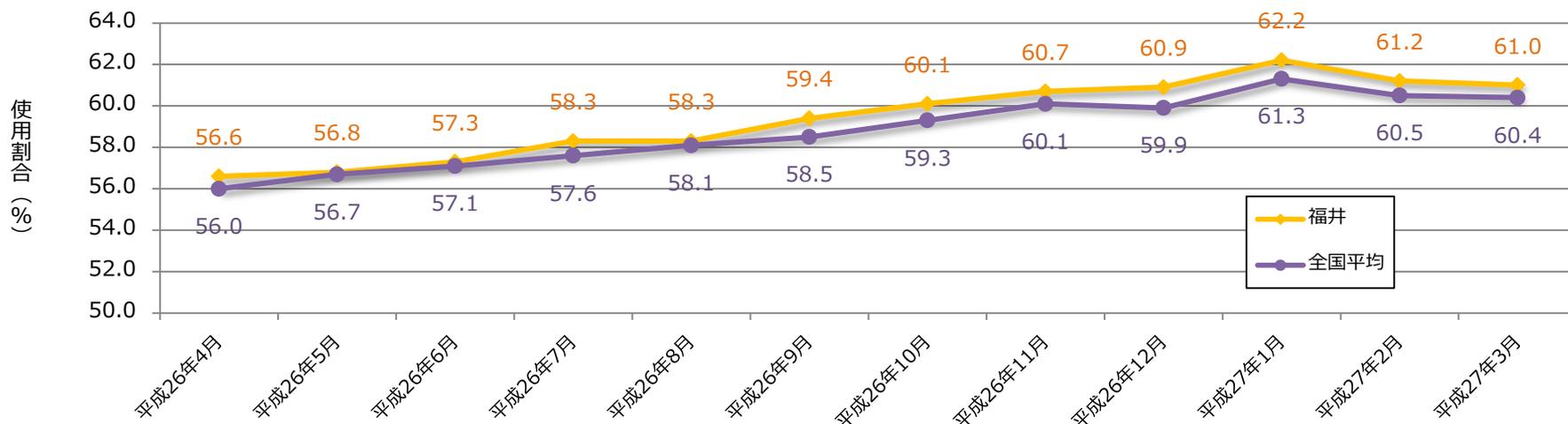
データ：医薬品使用状況（統計表）（平成27年3月）

※使用割合は全て数量ベースで表記。

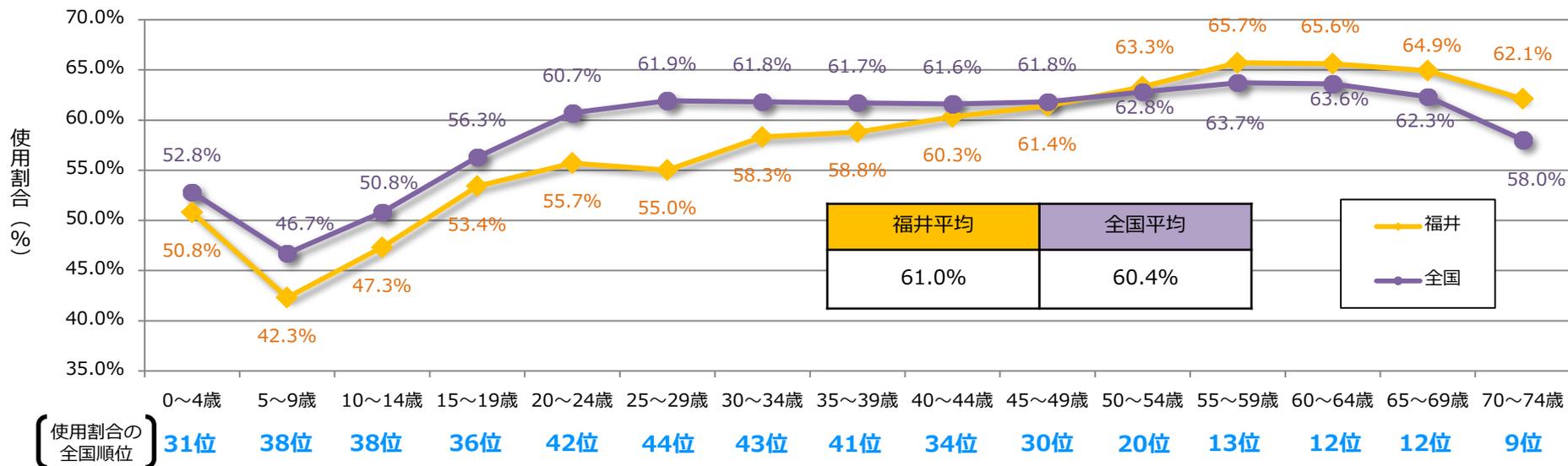
### 32 ジェネリック医薬品使用割合



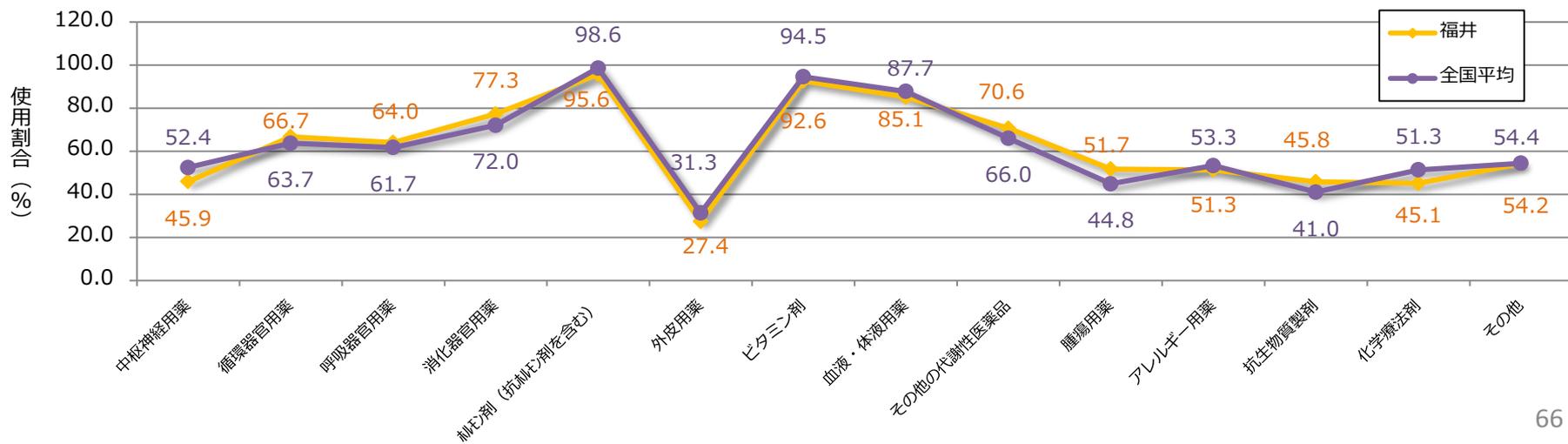
### 33 ジェネリック医薬品使用割合の伸び（26年度）



### 34 ジェネリック医薬品使用割合（年齢階級別）



### 35 ジェネリック医薬品使用割合（薬効別）



## 32～35 ジェネリック医薬品使用割合の特徴等（まとめ）

32	ジェネリック医薬品の使用割合を支部別にみると、福井支部は全国平均より少し高い61.0%で19位となっています。最も使用割合が高い沖縄支部とは12.9%の開きがあります。
33	平成26年4月～平成27年3月の間のジェネリック医薬品使用割合の伸びは福井支部、全国平均ともに+4.4ポイントとなっています。
34	ジェネリック医薬品の使用割合を年齢階級別にみると、「40歳代までは全国平均の方が高く」、「50歳代以降は福井支部の方が高い」という特徴があります。
35	ジェネリック医薬品の使用割合を薬効別にみると、ほぼ全国平均と同様の使用割合であることがわかります。消化器官用薬、腫瘍用薬で全国平均を比較的大きく上回っています。

## (参考 1-1) 社会保険表章用疾病分類 (1/2)

【社会保険表章用疾病分類】とは？

世界保健機関 (WHO) より公表されている「疾病及び関連保険問題の国際統計分類 (略称 国際疾病分類: ICD)」に準じて定められたものであり、社会保険の分野で疾病統計を作成する際の統一的基準として広く用いられているもの。

### 社会保険表章用121項目疾病分類コード

一般診療

#### I 感染症及び寄生虫症

- 0101 腸管感染症
- 0102 結核
- 0103 主として性的伝播様式をとる感染症
- 0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患
- 0105 ウイルス肝炎
- 0106 その他のウイルス疾患
- 0107 真菌症
- 0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症
- 0109 その他の感染症及び寄生虫症

#### II 新生物

- 0201 胃の悪性新生物
- 0202 結腸の悪性新生物
- 0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物
- 0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物
- 0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物
- 0206 乳房の悪性新生物
- 0207 子宮の悪性新生物
- 0208 悪性リンパ腫
- 0209 白血病
- 0210 その他の悪性新生物
- 0211 良性新生物及びその他の新生物

#### III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害

- 0301 貧血
- 0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害

#### IV 内分泌、栄養及び代謝疾患

- 0401 甲状腺障害
- 0402 糖尿病
- 0403 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患

#### V 精神及び行動の障害

- 0501 血管性及び詳細不明の認知症
- 0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害
- 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
- 0504 気分[感情]障害 (躁うつ病を含む)
- 0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
- 0506 知的障害 <精神遅滞>
- 0507 その他の精神及び行動の障害

#### VI 神経系の疾患

- 0601 パーキンソン病
- 0602 アルツハイマー病
- 0603 てんかん
- 0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群
- 0605 自律神経系の障害
- 0606 その他の神経系の疾患

#### VII 眼及び付属器の疾患

- 0701 結膜炎
- 0702 白内障
- 0703 屈折及び調節の障害
- 0704 その他の眼及び付属器の疾患

#### VIII 耳及び乳様突起の疾患

- 0801 外耳炎
- 0802 その他の外耳疾患
- 0803 中耳炎
- 0804 その他の中耳及び乳様突起の疾患
- 0805 メニエール病
- 0806 その他の内耳疾患
- 0807 その他の耳疾患

#### IX 循環器系の疾患

- 0901 高血圧性疾患
- 0902 虚血性心疾患
- 0903 その他の心疾患
- 0904 くも膜下出血
- 0905 脳内出血

## (参考 1-2) 社会保険表章用疾病分類 (2/2)

- 0906 脳梗塞
- 0907 脳動脈硬化 (症)
- 0908 その他の脳血管疾患
- 0909 動脈硬化 (症)
- 0910 痔核
- 0911 低血圧 (症)
- 0912 その他の循環器系の疾患

### X 呼吸器系の疾患

- 1001 急性鼻咽頭炎[かぜ] <感冒>
- 1002 急性咽頭炎及び急性扁桃炎
- 1003 その他の急性上気道感染症
- 1004 肺炎
- 1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎
- 1006 アレルギー性鼻炎
- 1007 慢性副鼻腔炎
- 1008 急性又は慢性と明示されない気管支炎
- 1009 慢性閉塞性肺疾患
- 1010 喘息
- 1011 その他の呼吸器系の疾患

### X I 消化器系の疾患

- 1101 う蝕
- 1102 歯肉炎及び歯周疾患
- 1103 その他の歯及び歯の支持組織の障害
- 1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍
- 1105 胃炎及び十二指腸炎
- 1106 アルコール性肝疾患
- 1107 慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)
- 1108 肝硬変 (アルコール性のものを除く)
- 1109 その他の肝疾患
- 1110 胆石症及び胆のう炎
- 1111 脾疾患
- 1112 その他の消化器系の疾患

### X II 皮膚及び皮下組織の疾患

- 1201 皮膚及び皮下組織の感染症
- 1202 皮膚炎及び湿疹
- 1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患

### X III 筋骨格系及び結合組織の疾患

- 1301 炎症性多発性関節障害
- 1302 関節症
- 1303 脊椎障害 (脊椎症を含む)

- 1304 椎間板障害
- 1305 頸腕症候群
- 1306 腰痛症及び坐骨神経痛
- 1307 その他の脊柱障害
- 1308 肩の障害 <損傷>
- 1309 骨の密度及び構造の障害
- 1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患

### X IV 腎尿路生殖器系の疾患

- 1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患
- 1402 腎不全
- 1403 尿路結石症
- 1404 その他の腎尿路系の疾患
- 1405 前立腺肥大 (症)
- 1406 その他の男性生殖器の疾患
- 1407 月経障害及び閉経周辺期障害
- 1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患

### X V 妊娠、分娩及び産じょく

- 1501 流産
- 1502 妊娠高血圧症候群
- 1503 単胎自然分娩
- 1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく

### X VI 周産期に発生した病態

- 1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害
- 1602 その他の周産期に発生した病態

### X VII 先天奇形、変形及び染色体異常

- 1701 心臓の先天奇形
- 1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常

### X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの

- 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの

### X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響

- 1901 骨折
- 1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷
- 1903 熱傷及び腐食
- 1904 中毒
- 1905 その他の損傷及びその他の外因の影響

### X X II 特殊目的用コード

- 2210 重傷急性呼吸器症候群[SARS]
  - 2220 その他の特殊目的用コード
- 歯科診療

## (参考 2-1) 日本標準産業分類 (平成26年4月改定) (1/2)

【日本標準産業分類】とは？

統計調査の対象における産業の範囲の確定及び統計調査の結果を産業別に表章するために用いられるものである。大分類はアルファベット、中分類は数字で表示している。

### A 農業・林業

- 01 農業
- 02 林業

### B 漁業

- 03 漁業 (水産養殖業を除く)
- 04 水産養殖業

### C 鉱業、採石業、砂利採取業

- 05 鉱業、採石業、砂利採取業

### D 建設業

- 06 総合工事業
- 07 職別工事業 (設備工事業を除く)
- 08 設備工事業

### E 製造業

- 09 食料品製造業
- 10 飲料・たばこ・飼料製造業
- 11 繊維工業
- 12 木材・木製品製造業 (家具を除く)
- 13 家具・装備品製造業
- 14 パルプ・紙・紙加工品製造業
- 15 印刷・同関連業
- 16 化学工業
- 17 石油製品・石炭製品製造業
- 18 プラスチック製品製造業
- 19 ゴム製品製造業
- 20 なめし革・同製品・毛皮製造業
- 21 窯業・土石製品製造業
- 22 鉄鋼業
- 23 非鉄金属製造業
- 24 金属製品製造業
- 25 はん用機械器具製造業
- 26 生産用機械器具製造業
- 27 業務用機械器具製造業
- 28 電子部品・デバイス・電子回路製造業
- 29 電気機械器具製造業
- 30 情報通信機械器具製造業
- 31 輸送用機械器具製造業
- 32 その他の製造業

### F 電気・ガス・熱供給・水道業

- 33 電気業
- 34 ガス業
- 35 熱供給業
- 36 水道業

### G 情報通信業

- 37 通信業
- 38 放送業
- 39 情報サービス業
- 40 インターネット附随サービス業
- 41 映像・音声・文字情報制作業

### H 運輸業、郵便業

- 42 鉄道業
- 43 道路旅客運送業
- 44 道路貨物運送業
- 45 水運業
- 46 航空運輸業
- 47 倉庫業
- 48 運輸に附帯するサービス業
- 49 郵便業 (信書便事業を含む)

### I 卸売業、小売業

- 50 各種商品卸売業
- 51 繊維・衣服等卸売業
- 52 飲食品卸売業
- 53 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業
- 54 機械器具卸売業
- 55 その他の卸売業
- 56 各種商品小売業
- 57 織物・衣服・身の回り品小売業
- 58 飲食品小売業
- 59 機械器具小売業
- 60 その他の小売業
- 61 無店舗小売業

## (参考 2-2) 日本標準産業分類 (平成26年4月改定) (2/2)

### J 金融業、保険業

- 62 銀行業
- 63 協同組織金融業
- 64 貸金業、クレジットカード業等非預金信用機関
- 65 金融商品取引業、商品先物取引業
- 66 補助的金融業等
- 67 保険業 (保険媒介代理業、保険サービス業を含む)

### K 不動産業、物品賃貸業

- 68 不動産取引業
- 69 不動産賃貸業・管理業
- 70 物品賃貸業

### L 学術研究、専門・技術サービス業

- 71 学術・開発研究機関
- 72 専門サービス業 (他に分類されないもの)
- 73 広告業
- 74 技術サービス業 (他に分類されないもの)

### M 宿泊業、飲食サービス業

- 75 宿泊業
- 76 飲食店
- 77 持ち帰り・配達飲食サービス業

### N 生活関連サービス業、娯楽業

- 78 洗濯・理容・美容・浴場業
- 79 その他の生活関連サービス業
- 80 娯楽業

### O 教育、学習支援業

- 81 学校教育
- 82 その他の教育、学習支援業

### P 医療、福祉

- 83 医療業
- 84 保健衛生
- 85 社会保険・社会福祉・介護事業

### Q 複合サービス事業

- 86 郵便局
- 87 協同組合 (他に分類されないもの)

### R サービス業 (他に分類されないもの)

- 88 廃棄物処理業
- 89 自動車整備業
- 90 機械等修理業
- 91 職業紹介・労働者派遣業
- 92 その他の事業サービス業
- 93 政治・経済・文化団体
- 94 宗教
- 95 その他のサービス業
- 96 外国公務

### S 公務 (他に分類されるものを除く)

- 97 国家公務
- 98 地方公務

### T 分類不能の産業

- 99 分類不能の産業